明治三十九年九月一日第三種郵便物認可

京城日報

定價 一箇月金七十五錢 郵税共 ……
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
印刷人 小川三之介
電話番號 長六千九百三十番 振替京城三〇〇番

六月三十日夕刊（朝刊併せて八頁）

條約調印の詳報 ク氏條文內容の無變更を證明

獨逸講和全權委員長ミユーレル博士及びベル氏は二十七日夜中里に到着し二十八日朝信任狀の審査行はれ同日午後三時調印をすせるが對獨逸講和條約は內容四百頁以上に亘るを以て到底朗讀する能はざる爲め講和會議長クレマンソー氏は講和會議を代表し獨逸委員の調印に供す可く交附したる講和條約文は嚮に交附されたる條約文と全然同一なる事を證明したる書翰を獨逸委員に送りたり、調印の儀式中フオツシユ元帥は佛國講和委員の中に著席し其他出席知名の士中には佛國上下兩院議員若干、戰時內閣の首相四名及アルサスローレンの佛國最高委員ありたり（巴里電報）

露國民に質問狀 在哈府日本司令部にて

ハバロフスク日本師團司令部にては今回同地人民に對し日本軍は衷心より地方民の安寧幸福を希望する餘り左の質問狀を發すこて「日本軍の駐屯目的を如何に思惟するや、如何なる國政を希望するか、如何なる方面に日本軍の援助を求むるか」其他質問事項を列擧せり（浦鹽電報）

聯國祝捷使交換 我國よりは閑院宮御差遣か

各聯合國にては戰後一層親交の度を密にせん爲め祝捷使を交換せんとの意あり英、伊、白各皇室よりは皇族殿下を米、佛兩國よりは使節を我國に派遣の內意あり之に對し我國よりも皇族殿下御差遣の事に內定せるが右は閑院宮殿下に御沙汰あらせらる趣きにて御出發期御治定の上御發表あらせらる可しと拜承す（東京特電）

大井將軍に感謝

大井第十二師團長が日本に凱旋するの報を聞知しハバロフスク市公共團體は代表者をブラゴエチエンスクに派し同師團長及び管下軍隊の功勞を謝し深甚なる敬意を表し師團長表彰の爲め軍刀一口を贈呈したり（浦鹽電報）

支那の對日要求 對內緩和策＝北京政府の苦境

北京政府は講和條約調印に際し各種運動再燃し輿論沸騰の兆あるより右緩和策として日本より青島還附の時期を明記せる一札及び高徐濟順鐵道契約の取消を要求せるが日本は未だ其時機に非ずとて拒絕せるより北京政府は頗る窮地に陷りたるもの、如し（北京電報）

支那の對米詰問 新銀行團組織に關して

北京政府は長文の電報を米國々務省に送り新銀行團の組織は支那の主權を奪ひ經濟の自由を害するものにてウイルソン氏の言明せる米國の銀行團脫退當時の趣意に悖れる事を指摘し反駁せり（北京電報）

銀行團組織反對

新銀行團の組織は漸く支那朝野の注意を惹起し參衆兩院共新銀行團の企畫を絕對に否認する建議案を議員より提出せり（北京電報）

孟督軍態度强硬

吉林督軍對張作霖の確執は益々甚だしく孟は絕對に讓歩せずと言明し其決心頗る堅し（奉天電報）

鐵道共管不承認

支那政府は巴里駐在の顧維鈞氏を經てウイルソン氏に鐵道共同管理は不承認なる旨打電せり（北京電報）

兩師團完成繰上

朝鮮第十九第二十兩師團は大正十年度を以て完成の計畫なりしが陸軍省に於ては是れを一年繰り上げ九十兩年度に支出すべき豫算を九年度に於て全部繰替へ支出の件を來期議會に提出の豫定なりと（東京特電）

講和成立に當りて 我國民は一層の發奮を要す 原首相談

講和條約は愈々二十八日を以て正式に調印せられたりとの報に接す回顧すれば一千九百十四年六月二十八日サラエヴオに於て墺國皇太子同妃射殺事件に事を發し茲に世界大戰の勃發となり年を閱する事四年に亘りたるが同盟國側は全力を擧げて戰ひたるも聯合側は良く堅忍持久最後の勝利を確信して之に對抗し去る一千九百十八年十一月に至り墺地利の屈服となり次いで獨逸の休戰條約調印となり茲に同盟側は全然敗北となりて我が聯合側は豫期の如き名譽ある戰勝者として講和會議に臨む事となりしも其間戰禍の爲に拂ひたる犧牲等に至りては筆舌の良く盡すべき所にあらず思ひ起すも尙悚然たり斯くして我が聯合國は各全權委員を巴里に送り講和條件の審議査定に從事せしむる事となり而して會議の爲め費す事約半年間聯合側の中心たる五大國は利害の錯綜する處ありて屢々難關に遭遇したりと雖も和衷協同の精神に則とり互讓して一致點を發見するに努め遂に講和條約的成案を作成して今日に至れり講和條約調印せられたりとて更に之が

實行に就き 尙ほよく審議交涉をせざるべからず茲に大戰以來約五箇年にして平和の確立するに至れるは世界人類の幸福の爲め眞に同慶に堪へず講和會議の最も重大なる問題たり國際聯盟の如きは將來各國共に其の完全なる解決に向つて努力を試むべきは勿論なるも今に於いて國力の充實國運の發展を期するにあらざれば事空文に了らん我が國民たるものは平和克復を機とし更に多大の發憤を要す（東京特電）

平和の背後には 緊要なる戰後の經營あり 內田外相談

二十九日正午愈々聯合國對獨逸講和條約調印の公報外務省に到著せるが當日は日曜日なるに拘らず外務省にては大臣次官を始め各課員多數登廳して執務し居れり、田秘書官は祝後の件及び祝賀會等にて事務に忙殺され居れり、此間に內田外相は大臣室に於て記者に語る『獨逸の講和條約調印は既に確定して居た所ではあるが今日茲に

調印の公報 が到着して見ると更に世界平和の確實になつたことを喜ばずには居られない、五年間の大戰は殆ど全世界が苦しんだのである今後は全く其の苦痛から脫却し世界が一樣に平和となり其の進歩發展に向つて進み得ることに至つたのは誠に祝ふべく喜ぶべきことである併し此の平和の背後には戰後の經營と云ふ大切なることのあることを忘れてはならない。

戰後の世界 は商工業學藝に於て爭ふこと、なるだらうから我國民も祝賀の一面是に對する用意がなくてはならない昨日講和調印が濟んだので其の正文はブレストから米國へ特別の汽船を以て送り米國では特別列車で太平洋沿岸に輸送し最近の便船で日本に到著することなるので其の間約二十日位を要するから正文が外務省に入るのは來月の末で批准を終つて日本と獨逸との間に講和條約の效力を生ずるに至るのは八月末であらう（東京特電）

靑木中將歸朝

支那政府顧問靑木中將は滯在一箇月の豫定にて二十八日北京出發歸朝の途に就きたり（北京電報）

英支鑛山組織

英支合辦の礦山會社は二十五日を以て創立し熊希齡氏社長に就任せり（奉天電報）

渡邊學長逝く

從三位勳二等工學博士東京帝國大學工科大學教授同工科大學長渡邊渡氏は廿九日遂に逝去せり享年六十有三（東京特電）

▲略歷 渡邊氏は東京府平民渡邊貞氏の長男にして安政四年七月二十七日を以て生れ後家督を相續す明治十二年理學士となり同十四年獨逸に留學を命ぜられ歸朝後東京大學御用掛となり爾來工科大學教授佐渡鑛山局技師等に歷任し同廿四年工學博士の學位を受け同三十二年農商務省鑛山局長に任じ同三十二年歐米へ差遣せられ後東京帝國大學工科大學教授に轉じ同大學長を兼ねたり

辭令傳達式

總督府にては卅日午前十一時より總督室に於て辭令傳達式を行ひ長谷川總督より今回江原道第一課長に榮轉したる谷多喜磨氏に辭令の傳達を爲せり

小學教員講習會

總督府にては來る七月二十五日より八月二十三日まで三十日間京城中學校講堂に於て臨時小學校教員養成所卒業者講習會を開催すべきが講習員は大正五年三月（第五回）及六年三月（第六回）京城中學校附屬臨時小學校教員養成所を卒業したる者六十七人にして之れが講師及び講習科目左の如し

一、教授訓練上の注意上田視學官 二、管理法藤崎京中校長 三、教育津田教諭 四、國語西龜池田兩教諭 五、漢文小林非兩教諭 六、數論 七、化學尾形教諭 八、劍道柔道松井岡村兩師

教員第二次講習

總督府にては來る七月廿五日より八月二十三日まで三十日間京城高等普通學校講堂に於て臨時教員養成所卒業者講習會を開催すべきが講習員は大正三年三月（第一回）及び四年三月（第二回）京城高等普通學校附屬臨時教員養成所を卒業し既に第一次講習を了したる者五十一人にして之れが講師は京城高等普通學校教諭塩在翊氏外五名なりと

總督祝賀會 三日間に亘りて

長谷川總督は平和克復を祝する意味を以て七月一日より三日迄三日間に亘り官民顯職等の主なる人士を總督官邸に招待し祝賀會を開催すべしと

振替貯金改規

二日附總督府令を以て郵便振替貯金規則中改正の件發布即日施行さるべきが右は七月一日附金澤に爲替貯金支局設置に付改正されるものなりと

官吏定期昇級

總督府にては六月三十日定期昇級を行ひ判任官三十二名、雇員二百五十四名に對し夫々各課長より辭令を交付したり

益沃水利計畫 面積八千町歩工費三百餘萬圓

全羅北道の臨益南部水利組合（灌漑面積二千六百町歩）並に臨沃水利組合（同三千百町歩）は現在の灌漑用水必ずしも十分ならず何等か

新水源の發見 施設を必要とする事情にあり又兩組合の灌漑地に接近し最近不二興業會社にて開墾の許可を受けたる全北沃溝郡の干潟地一千五百町步及び同會社にて信託を受け居れる七百八十町步は水田の施設を加へんとするに於て先づ水源を見出す必要あり茲に前記組合と不二興業との間に灌漑蒙利地を併合して八千町步の大面積たらしむべしとの議纏まり不二興業の藤井專務は數回下群して臨益南部の鳥谷組合長臨沃の宮崎組合長等と諸種協調の末該組合の計畫纏まりしに付目下新水利組合の成立手續き中なるが新水利は名稱を益沃水利組合と稱し水源地を全北高山郡に於ける全州川の枝流 に求め百尺の堰堤を築いて七億二千萬立方尺の大貯水池を設け十八里の永きに亘つて送水路を通じめんとするにありその工費概算三百三十萬圓（內舊債償還五十萬圓）を投ずべく總督府より水利組合の認可を得ば直に工事に着手する豫定なり尙ほ該組合は灌漑面積に於ても工費に於ても本邦に於ける水利事業中の[illegible]に立つべく殊に高山に於ける百尺の堰堤はその經費のみにて一百萬圓を要する由にて朝鮮としては初めての試みなりと

全北植附順調 米價前途如何

最近全北地方を巡行して歸城せし藤井不二興業專務の談に曰く

全北平野の挿秧は例年六月下旬より七月上旬に亘り終了するを常とすれど本年は降雨適順にして用水潤澤なるため十日以上早く六月中旬

大部の挿秧 を終了したり素より山間地並に用水不便の地に於ては植附不可能の箇所も若干あるらしけれど大體に於て珍らしき植附狀態を示し此の模樣にて經過せば昨年以上の米作を示すべく各農場並に農民の喜色は大方ならざるものある如し又全北の在米は最近餘程減じたるやうなり然し群山のみにて尙ほ二三萬あり奧地のものを合せば十萬石以上の移出餘力ある事は確實なるべし尙ほ米價の前途は內地に於て五百萬石の外米を輸入せば需給關係均衡する所ならんも之は春來予の信じて疑はざる所なるが昨今までに約四百萬石の輸入を見たる如く尙ほ

百萬石 の輸入あらば端境期の經過も無事にして米價も此の上の暴騰なからん旁最近內地に於て傳へられつゝある政府の外米百五十萬石買附事實ならば米價騰勢を鎮靜せしむべきも果して如何若し事實にあらずんば尙ほ多少の昂騰は免れざるにあらずや

銅價漸次恢復 久原鑛業所長 小瀧元司氏談

講和條約調印により世界大戰の終結を告げ今後は各國の經濟戰時代に入り各種生產原料の需要を喚起し

一般工業界 は漸次活勢を加ふるなるべし銅に就ては當社は專門に之を取扱はざるを以て的確に明答し難きも吾國に於ける電氣銅相場は昨今六十圓見當の高値にて英米の銅公定相場が其下位にあるは一時の變調にはあらざるべきかとも思考せらる何となれば世界銅產額の六割強は米國に於て產出せられ

世界銅相場 は米國市價に支配せらるゝを常とすれば現に東京に於ける銅相場も一二萬噸の所謂小口取引に就ては東京相場に依れども大口取引に對しては依然米國相場を準用しつゝあり以上の理由により未だ俄に樂觀を許さゞるものあるも大勢上漸次銅價も昂騰を示すなるべし

各地在米數量 檢穀所の報告

各米豆檢查所より總督府への報告に係る六月二十日現在の各地在米數量左の如し

仁川	七、〇三〇石
江景	二、六五〇石
群山	六、三〇〇
大邱	七、三〇〇
砂里院	三、〇〇〇
鎭南浦	六、〇〇〇

紙類の暴騰 前途一段高

五月以降昂騰の氣勢を辿りし紙價は最近和紙一丸に付き三四圓乃至七八圓の値上りを見殊に障子紙の生產物は格段高を示し又洋紙は一ポンドに付き二錢乃至五錢の値上りを爲し前途尙一段高の趨勢なりとの事が原因を聞くに昨年休戰以來內地生產を極度に手控へ一般に商賈けに苦心したる爲め在荷潤澤となり居たるが其後內地財界の復活に伴ない諸物價の昂騰勞銀の騰貴の爲め紙價は常に生產費を償ふ能はず不勘損を示し居たるに今回の講和締結の爲財界樂觀の安心買昂越買人氣となり如上の値上を見るに至りたるものゝ如く尙昨年休戰當時に比し下値にあるを以て前途一段の昂騰を免れざるべし

本春明太漁業 近年稀有の豐漁

明太漁業の下半期即ち一二三箇月中に於ける漁況は客冬の豐漁に引續き天候良好にして前年に比し

出漁日數多く 又近年稀有の豐漁にして其漁獲概算高一月中一萬五千七百餘駄八十六萬三千餘圓、二月中三千九百餘駄、約二十一萬七千餘圓三月中百餘駄、五千圓、合計一萬九千七百餘駄百三十一萬四千圓に達し千九百餘圓の合計總漁額二十一萬三千四千餘圓を算し從漁船は一月中一千隻なりしも二月に入り六百餘隻となり三月に入りて約二百隻に過ぎず之を前年下半期

漁獲高と比較 するに明太魚數量に於て三千五百駄、價格四十四萬四千餘圓を增額し副產物の明太卵は前年に比し需要增大し殊に內地移出額多くの價格五萬九千餘圓を增收を示し魚卵辛も年々製造高を增加し前年に比し價格三萬二千餘圓を增加せり其他明太魚肝油も鮮人の採取に從事する者逐年其數を增し是れ又前年に比し

二萬三千餘圓 の增額を示せり昨年十月即ち初漁期以來の總漁獲高を通算する時は明太魚四萬四千七百駄、二百六十二萬九千五百餘圓、副產物四十九萬五千七百餘圓に達し之の合算金三百十二萬五千五百餘圓の多きを示し前年漁期に比し十二三割の增加にて從來未だ嘗て見ざる最高の記錄を作れり

賣買石建改正

仁川米豆取引所にては七月二日の九月限新甫發會より從來の賣買建て最低石數五十石を廢止し百石に止むる事に取引所對仲買人間の協調成立したりと

京城學校組合會

京城學校組合にては三十日午後三時より組合會議場に於て組合會を開催し左の諸件を審議せり

一、組合吏員以下に臨時手當支給の件 一、八年度追加豫算の件 一、戶別割賦課加減免に關する件

商議會延期

七月一日平和祝賀の爲め休業に付き同日開催の筈なりし京城商議評議員會は二日に延期したり

仁川取引所休場

七月一日は戰捷祝賀記念のため仁川米豆取引所は祝意を表し休場す

師團長檢閱

淨法寺師團長の管下諸隊の隨時檢閱は七月一日より實施の豫定なりしも觀兵式の爲め變更し二日より實施さるゝ事となりたるが隨員は左の通り決定したり

參謀部、佐藤騎兵中佐、靑永歩兵少佐、副官部、伊木歩兵少佐、宮地騎兵大尉、坂井歩兵大尉、吉澤歩兵大尉、兵器部 高市砲兵少佐 西村砲兵大尉、經理部、淺野二等主計正、芝田一等主計、軍醫部 西一等軍醫正、永富一等軍醫正、早川二等軍醫正、獸醫部 永村三等獸醫正、多田二等獸醫、法務部、大山理事、新井理事

山田少將來期

上海を振出しに長江一帶を視察し漢口、靑島、濟南、天津、北京、滿洲各地を歷遊中の無線電信調査委員會長山田陸軍少將は八日來城の豫定なりしも變更し六日午前六時五十分龍山著列車にて來城し總督、政務總監、軍司令官等を訪問の後龍山新設軍用電信を視察すべく又無線電信監督の爲め來城中の石井英通少佐は山田少將出迎への爲め四日奉安東縣に到り八日夜少將一行と共に砲工學校に歸任すべしと

兩代議士入城

代議士遠藤良吉同福井三郎の兩氏は廿九日夜特急にて來城目下滯在中

東少將歸東

東正彥少將は三十日午前五時四十分釜山著列車にて來釜直ちに聯絡船にて歸東せり（釜山特電）

出張命令（二十八日附）

總督府技師 稅田谷五郎 東京へ出張を命ず 三十日間の豫定

忘機吟社例會

忘機吟社例會は七月六日（日曜）午後一時より本町三丁目齋藤琢次氏宅（勸農園）にて開催す會員諸君は各自排毫の書畵及び雅印を携帶せられたしと

人事消息

▲新庄順貞氏（總督府通譯官）歸城後微恙引籠中なりし同氏は病氣快癒三十日より登廳せり
▲本田常助氏（水原模範場長）三十日朝釜山より水原に歸著
▲長尾半平氏（鐵道院理事）一行八名二十九日夜通過西伯利へ
▲松永道長官 三十日朝水原視察
▲井上致也氏（滿鐵京管旅客主任）三十日朝退城
▲山岡元一氏（鈴木商店重役）三十日朝發渡米
▲井戶川辰三氏（平壤第三十九旅團長）三十日夜入城巴城館に投宿
▲簗花昶氏（富川郡守）二日午前八時五十分南大門發赴任
▲小山庄三氏（鈴木京城支店長）一日朝京義線瑞興へ三日朝歸城すべし

八面鋒

◆諸學校の暑中休暇近き吾人は特に小學生に關し一言せんとす◆夏休の趣旨が主として兒童の健康を考慮せるに在は明白也◆兒童の頭腦は單純なり應用研究の多きを耐するは無理也◆然も彼等を規律ある學校より一ヶ月間殆ど無監督に解放し置くは學校を放擲させ單に家庭の訓練監督に委は學校教育の統一を缺ぎ智識向上の連絡を中斷し恐らく弊害招來の因を作る可し◆此意味に於て休暇中には宿題を課し若は時々登校せしめよ◆斯て學事中斷を防止し適當の質を示し兒童等に學校觀念を其頭腦より遠からしめざるは最穩健なる良策なる事を認む◆要するに休暇は兒童の頭腦を輕減し學課を輕からしめ其大部分を健康增進に利用すべき趣旨ならざるべからず◆健康の增進は一に體育にあり體育は勿論也體育は運動に在り◆世上兒童の運動は學校のみにて充分也他に獎勵の必要無しと言ふ者在り甚だ恐笑ふべし若之が責任者の言也とせば不許可◆吾人は言はん右の言は最も舊き見解を有する迂腐の言也と◆言者は運動を解するの能ありや否或は之れ嫌惡守舊者乎◆最も進歩を必要とする兒童教育に關する者が舊來墨守は最も警戒せよ吾人は兒童教育に一層意見を有す他日必ず言はん

京城府條例

府協議會ノ諮問ヲ經朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ國稅及地方費賦課金附加稅賦課徵收條例ヲ左ノ通定ム
大正八年六月卅日 京城府尹 金谷充
京城府條例第三號 國稅及地方費賦課金附加稅賦課徵收條例
第一條 本府內ニ於テ每年度豫算ニ定ムル課率ニ依リ本稅ノ負擔義務者ニ賦課ス
市街地稅附加稅 本稅金一圓ニ付三十五錢
地方費賦課金家屋稅附加稅 本稅金一圓ニ付七十錢
第二條 各納期ニ於テ本稅ハ本稅ト同時ニ課率ヲ乘シテ徵收スヘキ本稅額ニ賦課徵收ス
附則
第三條 本條例ハ大正八年度分ヨリ之ヲ適用ス
第四條 大正三年京城府條例第十號國稅附加稅賦課徵收條例ハ之ヲ廢止ス

第二回決算報告（大正八年五月卅一日現在）

貸借對照表	
借方 資產ノ部	
未拂込株金	[illegible]
土地及家屋	[illegible]
機械及器具	[illegible]
什器	[illegible]
商標權	[illegible]
製品及半製品	[illegible]
積送品	[illegible]
原料及貯藏品	[illegible]
賣掛金	[illegible]
植林部	[illegible]
箱製造部	[illegible]
保證金	[illegible]
有價證券	[illegible]
受取手形	[illegible]
預金及現金	[illegible]
當期損失金	[illegible]
合計	[illegible]
貸方 負債ノ部	
株金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
諸積立金	[illegible]
信認金	[illegible]
借入金	[illegible]
支拂手形	[illegible]
買掛金	[illegible]
假受金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]

右之通候也
大正八年六月
株式會社 朝鮮燐寸會社
取締役社長 奧田貞次郎 專務取締役 白神專一 取締役 和田友太郎 取締役 今村順次郎 ……

廣告 蠶繭貿易大販賣 販賣期間（自六月二十四日 至七月十日） 城南新興邑內 新興貿易商會

最新式二連及ピストル新荷着（定價表郵呈） 橫濱市本町 合資會社 金丸銃砲店（主店 西村潤藏）

紙瓶 畑硝子工場 京城吉市町 電話二七四六 主 畑兄弟 野工場特製 人參エキス瓶其他一般御注文に可應候

廣告 平和克復ニ付來七月三日午後正四時ヨリ景福宮內慶會樓ニ於テ府民祝賀會開催候條有志諸彥ハ奮テ御來會相成度候也
記
追テ會費金壹圓五拾錢ヲ添ヘ七月二日正午迄ニ左記各所ヘ御申込ノ上會員章御受領相成度候
大正八年六月二十九日
祝賀會發起人總代 京城府尹
京城府庶務係又ハ龍山出張所

種苗代價表 大正八年秋季 蒔入說明附 ハガキ御申込次第無代贈呈 東京內藤新宿局隣 日本種苗株式會社

平和克復に付祝意を表し來る七月一日臨時休業仕候 株式會社 仁川米豆取引所

役者の素顏 『新演藝』臨時增刊 俳優名鑑と寫眞帖とを兼ねたもので舶來光澤紙百八十頁本文說明も同じ頁數の美本です。一部八拾錢送料八錢 發行社文玄 東京芝公園 振替東京一四一七七

芝浦 旋風機 着荷 特價販賣 京城長谷川町（電話長一十六八番 振替京城六八〇一） 電機商 合資會社 ヒオキ商會

繭問屋開始 取扱確實懇切・高價買入 荷爲替引受・資金融通 夏秋蠶種 白龍七十錢 交配種一圓卅錢 送料五錢 同時良種即送 京城漢江通四番地（電車通兵站前） 東蠶社 長電話二六二 振替口座一四一

化學工業藥品 分析藥品器械 工業用酸類 製革用藥品 鑛山用藥品 合名會社 島久商店出張所 京城明治町二丁目 電話長四四四番

水遊び　或る日の午後

祝福の日の觀兵式

愈々一日午前九時より龍山新練兵場にて擧行

想像に餘る分列式の壯觀

既報龍山師團の觀兵式は愈々一日午前九時より擧行さるゝ事となりたるが定刻に先立ち諸隊は漢江河畔新練兵場に集合し師團司令部、旅團司令部、歩兵第七十八聯隊、歩兵第七十九聯隊、朝鮮歩兵隊、工兵中隊、野砲兵大隊、騎兵中隊の順序に依り整列し諸兵指揮官は淨法寺師團長、司令部參謀長は西田歩兵大佐なり、九時少し前宇都宮軍司令官は幕僚を從へて入場すれば諸隊の先登より一齊に司令官に對する禮を吹奏し喇叭の音の止むと同時に司令官は徐ろに馬首を南に進ませて諸隊の閲兵を行ひ斯くて閲兵の後分列式に移るべく先づ歩兵隊より隊伍整々歩武堂々行進を開始すべし二旒の聯隊旗風に孕みて飜々として觀る人目を眩ぜしむべく砲兵騎兵は速歩行進にて騎兵が翳す軍刀の光は馬蹄より起る濛々たる砂塵中より輝く可く當日の壯觀想像するに難からず陪列者は宇都宮司令官の後方にて拜觀するを得べく在郷軍人會各學校生徒も亦陪觀するを得べく既に席も定められたり式後將校の祝宴は未だ決定せざるも下士卒には下給品あるべく各隊に於て大戰に關する講話ありたる後一般の外出を許可し觀兵式にありては囚兵の業も休ましむべし又正午を期し野砲兵大隊は新練兵場に砲八門を敷き百一發の禮砲を放つべしと

三日の大祝賀會

慶會樓を美々しく裝飾し心字池の周圍に模擬店を

申込は必ず二日正午まで

京城市民の平和克復祝賀會は既報の如く來る三日午後四時より景福宮內慶會樓に於て擧行さるゝのであるが當日會場たる慶會樓には幔幕や萬國旗で飾立て心字池の四周

綠滴る林間 にオデン、燗酒、ビール、アイスクリームや燒鳥なぞの模擬店を設け內鮮の紅裙連が斡旋する筈である。會員には何等の制限がなく二日の正午迄に府廳庶務係又は龍山の出張所に金一圓五十錢を添へて申込めば府廳では會員章と當日の次第書と會場の略圖を印刷したものを交付することになつて居る。暑い盛りのことで料理の準備に骨の折れることでもあるから、二日の正午を過ぐれば一切受付けない、當日會場に會員章を持つて往けばよい位に思つて大間違ひ、豫め交付された

會員章を胸 に挿て往かねば入場することが出來ぬ事になつて居る、當日の次第書には

一、第一爆竹(午後四時)
一、會員式場集合　奏樂
一、開會
一、祝辭(全府尹)
一、君が代　一同敬禮
一、萬歳奉唱
一、食堂開始

の如く決定して居る

一、第二爆竹
一、模擬店開始
一、閉會

尙當日は午後一時から漢陽公園で煙火十發を揚げて會員に豫告する筈である

自動車で大砲を

牽く新計畫　陸軍省で研究中

陸軍では歐洲戰爭の經驗に鑑み從來馬匹を以て牽引して來た大砲を今度自動車に變更する事となつた右に就き陸軍省の自動車調査部

山川大佐 は語る、大砲を自動車に牽かせる事は昨年の一月から研究に着手して居るが未だ實施までには至らない、夫れには第一どんな自動車を作るか又どの位の程度まで山路を進み得るか、どの位の牽引力があるか等種々の方面から研究を要するので着々研究の歩を進めて居るが

根本的の 改良には大砲にも改良を加へなければならない若し研究が完成して愈々自動車を用ひるやうになつたら第一行動が敏活に行くばかりでなく今迄馬の及ばなかつた處でもどしどし行けるやうになるのみならず戰術上にも多少の影響があるかと思ふ(東京)

下關の祝賀會

下關市にては來る七月一日午前十一時市會を召集し賀狀捧呈の件を附議し正午市民一般の講和祝賀會を催す事に決定せり(下關電報)

龍山偕行社子寶會

愈々成立す　立派な第二の國民を作るのが其目的

龍山軍司令部師團司令部有志間に唱道せられたる偕行社子寶會は宇都宮軍司令官淨法寺師團長の贊成を得て愈々成立し七月中旬の日曜を期し

發會式を 兼ね其の第一回子寶會を開催すべく目下準備中なるが右に付き宮地師團副官は語りて曰く『さしも永い間流血の慘事を繰り返し幾多の悲劇を生んだ歐洲大戰も茲に終りを告げ目出度く平和は克復したとは云ふもの、戰禍はいつも

平和の影 に潜んでゐるものである聯盟會議が假令成立しても個人と個人との喧嘩が絶えない限りは國と國との戰爭は永遠に絶えない四圍の狀況を省みるに今後日本は益々多事となる尊き未來を有すると共に

今後日本 を雙肩に荷つて立ち、光輝ある日本の國威を益々發揚するに努めなければならぬ國家多事の秋、是に對する少年少女は第二の國民であると思つてゐる云々

時に山登 りしては剛健の氣性を養ひ時に遠足會を開いては動物植物に對する愛撫の情を養ひ第二の國民として耻づかしからぬ立派なものに訓練したいのが本會の使命である、尤も小學校長とも連絡を取り此の會が果して利益であると認められたなら一般

少年少女 の來會を歡迎し健全なる少年少女の會合と仕度い一般有志の來會をも歡迎しても良いのである、勿論偕行社子寶會を朝鮮子寶會として も改稱しても良い

子寶會は毎月一回少年少女を偕行社に集めて軍事講話において面白い噺の中に有益なる教訓を與へ覺悟と準備とが無ければならぬ

京城中學校龍山中學校では七月一日午前八時より祝賀式を擧け京城高等女學校では卅日祝賀式を擧けた又府內各小學校では七月一日臨時休業をなし夫れぐ祝賀式を擧行する相である。

我國の人口は漸次、減少の氣味がある

民族發展上の大問題

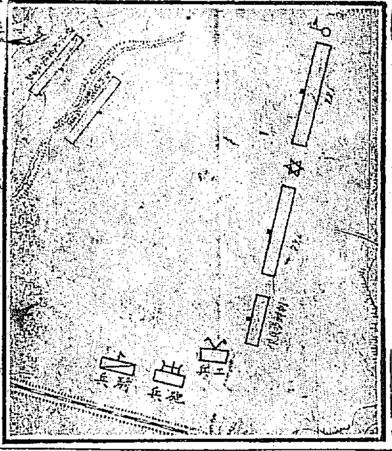
內閣統計局では大正六年度中の道府縣に本籍を有する者の婚姻離婚生産死産死亡棄兒失踪等の人口動態の統計を發表したが牛塚同局長は語る『婚姻總數は四十五萬四百餘で前年に比べると

一萬四千七百餘の增加で 人口千に對し八組の割合だ此上昇は大戰の影響を受けた我經濟界の活躍が因を成すものと思はれる離婚は五萬六千餘で前年より四千四百餘件減つて居る併し內緣者の離婚數は入つて居ないから此數字のみを見て喜ぶのは早計だ生産數は男九十四萬七百餘人女九十萬二千二百餘人で

前年に比べる と男四千七百餘女五千三百餘を增加して居る詰まり千人に付いて卅二人生れる譯で人口全體として見ると男の方が女よりも多い併し增加率は今が頂上で今後漸次減少する氣味が見ゆるが民族發展上大問題だと信ずる尙死産數の男女合計十四萬三百餘人を數へるのも姙婦の不攝生、醫藥の不備胎兒の體質不良等が原因だが

或る不道德 に依る死産も此中に入つてゐる是抔も出産の道學者等の一考する價値がある佛蘭西は今や千に就て一人の生産率しか有して居ないが斯う云ふ戰慄すべき狀態を想像すると我等は晏如たる能はざるものがある』(東京)

觀兵式場略圖



英國飛行船巡回飛行を終了す

英國大飛行船アール第三十四號はウヰルヘルムスハーフエン、フリードリツヒスハーフエン及び波羅的海沿岸を包含する二千餘哩の巡廻飛行を終了したり右大飛行船は伯林を訪問せざりき(倫敦電報)

講和祝賀式　各學校で擧行

平和克復に對して京城各學校は夫々祝賀式を擧行する筈工業專門學校では昨廿九日祝賀式を擧げ卅日から暑中休暇に入つた京城高等普通學校では卅日から暑中休暇に入つたが別に式なさは催されなかつたさうである

千秋樂の大相撲

朝の中は雨で淋しい

京城興行最終日たる五日目は朝來雨模様の爲めに午前中の入りは淋しかつた。朝稽古は例に依つて猛烈で賑やかである。中にも元氣者の宇都宮と光風が十數番申合つたと長身の對馬と大兵の二瀬龍が數番申合つたのが觀客を喜ばせた。殊に京城乘込みの際南大門通りで車を乘り潰した二瀬が對馬から毬のやうに轉がされるのが愛嬌があつた。午後は本社懸賞取組優勝力士に對し銀盃を贈呈する筈である。

見物を喜ばせた對馬と二瀬龍の申合る聲が起つたので見物の一人が『革相撲じやあるめいし』

善隣生見物 善隣商業學校生徒一百五十名は教師引率の下に五日目角力を見物せり

今夕仁川へ　一行出發

合併大相撲は愈々本日を以て京城を打揚げ直に夕刻の列車にて仁川に向け出發の筈なり

行司溜り

見た儘聞た儘

▲四日目は日曜日なので朝の三時頃から詰めかけて小屋も破れそうな大入、正午前には最う大入札止めの盛況で有た▲本社好み決勝五人拔きは光風が若常陸を破つて止めを刺したので見物はヤンヤと受けてるた▲南の土俵に近い半十間に陣取つた三十二三の丸髷の年增がスッカリ上せ出した▲此女前からメートルを上げてるたので彌次馬が蜜柑の皮を投げつけるやら菓子の片が飛ぶやらで果ては女が立つて啖呵を切り出した▲後に白洋服の男が制止したので取組合となつた▲相撲もそつち退けで場內總立ちの大騷ぎとなつて▲此女大醉酒癖が惡いうだ▲相の川の代りで綾友と取組んだ綾若が土俵際で譯もなく負かされたので四本柱の入間川が承知しない▲『此の野郎明日から髷を拔け』御客樣に申譯がない。あの野郎を俺が土俵の下りて行く迄待たしとけ』行司の一人が『親方は全く負けた』▲之れを見ても一切の八百長が許されないのは明かだ▲誰彼の曰くである▲人氣者大平山が伊吹と組んで投げられたので見物が同情して『ナニ敗ても西の横綱が貰つた』▲西の柱の下に落された大平山は其處にあつたバタの鐵で足を深く切つたので見物の一人が『そんなものを置いてた奴は張り飛ばせ』▲中入の十俵入で大阪の力士連が出ると所望々々と藝句を所望す

鈴辨の首は發見されぬ

信濃川より鈴木辨藏のトランク發見されたるも首は未だ發見されず

儒佛仙の三教を信仰

が文章は支離滅裂で而も大方自分が白賢の文字が並べてある曰く『私は廿五年間道を得道したので天下萬物一として不明のものは無い今回自分が衆に教へを授けて居る十名の者と共に極樂世界の天門に幻生する爲め死を決して水中に投ずる死んだ後は水天宮の玉宮に登り

銅頭鐵身 となり天下萬國を巡行する志はいが『十一人の靈魂が九天に居て大恩を考へて居るから萬民が尊敬する様に取計つて呉れそうして京城に法高閣を建て十一名の靈魂を奉安し其前に天作之大道法高殿と云ふ額を揭げて呉れ』に至つては實に

噴飯に値 する迷信も是迄進んでは手の著けやうが無い而し爰に一つ感心な事は『自分の長男に梁在浩と云ふのがあるから警察で保護の上教育を施して呉れ』とある事だ

迷信が因

十一人投身　事件の後聞

廿九日午前一時半頃京城貫鐵洞嶋大商梁在浩(五八)外十名が洗劍亭附近の永宗島の海中に身を投じて自殺を圖りたる椿事は既報の如くであるが其從本町警察署へ舞込んだ梁在浩の遺書に依つて見れば迷信の結果投身を圖つた事が明かである遺書と云ふのは半紙六枚に諺文で認められてある

巴里の松明行列

祝賀費四千萬法支出

巴里にては廿八日夜軍隊分列式擧行され尙幾多の松明行列市街を練り歩きたり廿七日下院は七月十四日に擧行さるる可き戰捷祝賀會の爲め四千萬法の支出を可決したり(巴里電報)

力士團へ挑戰

京城に居る不良少年の一團が力士團の京城總會を機とし平均給が集つてチームにては七月上旬來壇すべき東京相撲野球團と野球戰を開催するに決定したるが時日は目下の處未定なりと

不良者が群の聲を爲して居り京仁線と共に一日一哩の收入は十圓內外しか無かつたので私鐵は是非十五圓に上せ度いと努力したものだ▲然るに今年十八年度には是非五十圓に上げた▲八年度には一哩平均收入が四十二圓を突破して居いと又更に夫にのみ努力して居るが人間の慾望には限りありませんね』と益々何か主張して揮して居る

本誌の迷惑

昨紙明刊三面に元禁地警察署長本堂平四郎氏の事を掲載せるが左の來書により該記事の一部は誤聞に付正誤す

拜啓　貴社益々御繁榮慶賀至極に奉存候陳者昨三十日紙上に小生と朝鮮農事改良會社との關係に付き御掲載有之候處右は事實相違の點有之迷惑不少候間此全文御揭載下被成度候尙小生は單に朝鮮見たさに井上先生のカバン持として同行せるに過ぎず隨て吉田長官とも何等の關係なく又內紹なごのある筈も無之邪魔ひどして便宜居殘り朝鮮側の發起者の出迎に於ても居殘る事を得ず將又遺族しも別段次第に御座候事業成立の必要なしさせて居殘るや否や全く不明の境遇に候へば御覧被下度候早々敬具　六月卅日　本堂平四郎

▲京管の大內經理課長は年が若いのか大きいのか判らぬが殆ど取つてゐるのか除り瀟洒な姿容の爲め容易に年を當てるものが無い▲或る人は若年寄の異名を奉つてゐる▲其の大內君曰く『京釜鐵道時代は經營者の賊い線を加へて一日

第三回婦人見學

今次の見學は水源地であります　京城市民が毎年夏季に困るのは水道であります　水!!水!!水源地は何う云ふもの?市民は是非見て措く必要があるのではないかと思ひます　此の際に京城女學校婦人方は特に其の必要がありますが殊に家庭上最も關係の多い御婦人方は更に其の必要がありまするのでは なからうかと思ひます此の際に京城女學校職員方は御參加下さい詳細は左の通りであります何うか御婦人方は此の機會を逸せず多數に御參加下さい

見學場所　纛島水源地＝纛梁津水源地

時日　七月六日(第一日曜日)午前九時迄に往十里纛島驛(電車終點)に參集して下さい

方法　午前九時十分往十里より水源地に參ります水源地を見學し係りの方から說明を聞き十二時前用意の船に分乘しまして漢江を下るのです其景色の美しい事は今更ら申上る必要はありませぬ船の中で午飯をすませて三四時間も風光を賞しつゝ纛梁津に著きます而して又た同所の水源地を見學して解散致します

會費　三十錢當日御持參下さい御辨當は各自御持參を願ひます其の他は總て本社で準備して居ります

會員　今回は必ず百名と決定して居ますから御申込みは可成速かに往復葉書で願ひます超過する時はお斷りし升詳細は新聞を御覽下さい

主催　京城日報社

コンナ珍しいものが日本に初めて出來た

醫學博士藥學士合議發明

美乳

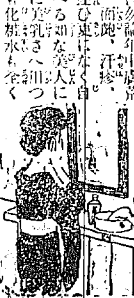
定價一瓶　貳拾五錢

◎白色美人となる不思議の乳劑

美乳の卓絶せる成分　美乳は白粉でもなく化粧水でもなく又單なるクリームでもありません、それ等の有觸れた化粧品とは根本から全く成分が異つて居ります。これこそ斯道専門大家の苦心に依つて新に發見した世にも驚くべき白色劑と珍しき美容の理想的抱合物で新時代の科學の力が隅から隅まで閃き渡つて居ります、美乳はご美白成分の確實で顯著なものは現代に於て絶對にありません。

美乳の不思議な作用　白粉を塗つて一時だけ白くなつたのは洗へばすぐ剝けます、色の白さも美しさも其の生地からでなければなりません、美乳は實に此の新時代の要求から發見されたものであります　美乳を用へば皮膚の微細な毛孔を通じて最も完全に其の美白素を吸收し最も完全に皮膚の根本組織を白くし美しく艶々しくし又柔らかき事大理石の如くにする美乳獨特の不思議の作用があります。

美乳の驚くべき効果　既に斯の如き成分と作用とを有する美乳でありますから効果も又眞に驚くべきもので之を常用すれば、生地から白く美しくなりお年が寄つても小皺の寄る心配なくいつ迄も其の若々しさを保つ事は勿論年中荒れ、雀斑、汗疹、面皰を知らず白粉まけの心配も要りませんから白粉を塗らなくても白くなります、故に美乳さへ用つて居れば白粉も化粧水も全く要らなくなります。



婦人界の大福音　朝夕の洗面の後に必ず美乳を塗る習慣がつくと、日一日と皮膚の白く美しくなるのに驚かれます、殊に溫みの美乳一滴は効力を一入著しく致します　又美乳は三分の化粧品の別名もある位で急ぎの時の化粧には西洋手帳、加之何時何處でやも自由に化粧が出來て化粧崩れの心配がないから美乳に限ると近來婦人間の評判です。

近代紳士は皆美乳黨　美乳はホンノリと目立たぬ白さに男子の皮膚を美しくし勇ましく、髭剃り後の美身料殊に髭剃の後に之を塗れば剃刀まけの憂ひは絶對になく塗込んでゐるうちにほんのりと香ひが漂ひ白く美しい美身の爲め髭剃の後にチョット一つかみ何とも云へぬ快感を感ぜられます又香の高い事は其中に含んだ藥品の芳香が香水に代用し得る氣が利き男が見て惚々する位です。

僅か一瓶で美人となる　試驗はタツタ一週間!

一手販賣　大學目藥本舖　矢野芳香園

尼崎汽船出帆

第一大運丸　第二大有丸　萬代丸　其他各汽船　七月[illegible]日出帆
印 仁川　尼崎汽船部 ……二丁目 高杉回漕店

大阪商船出帆

(仁川出帆)
大阪行　△安東丸　七月　日正午出帆
　　　　△信濃川丸　七月　日正午出帆
(元山出帆)
浦潮行　△安平丸　七月　日後十二時出帆
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
　　　　△安平丸　七月　日後九時出帆
(大連出帆)
上海、基隆、打狗行
◎◎基隆丸　七月　一日前六時出帆
　　湖北丸　七月　日後六時出帆

御注意　歐洲行一年四回　北米行毎月一回　南米行毎月一回　濠洲行毎月一回　南洋行毎月一回　內地各港出帆定期航路

大阪商船株式會社仁川支店　電話二番・二〇〇番・五〇番

京城　內外支店、出張所　[illegible]

互光商會廣告

◎第二 [illegible]丸　七月 日　元山、西湖、城津、清津行
◎第三 [illegible]丸　七月 日　釜山、大邱、浦項、大阪行
元山 田中[illegible]

朝鮮郵船出帆

△敦賀行　浦潮、城津、元山經由　立神丸　七月　日
△浦汐行　大阪發、門司、釜山、元山、城津、清津經由　越後丸　七月　日
△雄基行　關門發、釜山名港經由　雄基丸・京畿丸　七月　日
△元山雄基線　元山迄、雄基間往復　鏡城丸　七月　日
△大阪行　釜山、浦項、城津、元山經由
△關門行　各港經由
△鬱陵島行　釜山發浦項及各地經由
△濟州島行
△東西廻　公州丸・慶興丸　七月　日　木浦發
△釜山浦項線　釜山發
△釜山麗水線　釜山發
△木浦濟州島線　木浦發
△多島海各島行　木浦發
△全州丸　七月　日　仁川發
△仁川鎮南浦行　七月　日　仁川發
△大連青島行　七月　日　仁川發
本社　京城南大門通(電話長一九五一、二三)
京城代理店　松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ　電話長一一〇七

七月二日(舊六月五日)水曜　日出　日入

なれば心を正しく禍を迎ふべし

二等岡田亮之、平井菊藏、長尾卯平、高貞次、齋藤府一郎、同須嫡子、福島光八郎、鈴木四吉、鈴木謙、毛利彬、直海英夫十九日午後入港朝鮮郵船船客一等三名、二等二百三十八名、田中いさ、杉浦玉市、內野鶴三、相澤仁助、日野孫介、外入三名、英太次郎、田中良次郎、今川英吉、同辰子、同梅子、瀧本長外入一名、三等一百二十名

營業　早川松尾、河本中村、伊藤宮崎、藤村山崎、本谷福島

光州の庭球戰

選手消息

天氣　晴一時曇　京城氣溫

第五版

地方に於ける住宅問題
平壤　楠野府尹談

近來平壤に於ても諸商工業の勃興に伴なひ困難を感じつゝあるは住宅の不足に關し平壤府尹楠野俊成氏は語る（平壤）

先づ土地から　赴任以來尚日の淺い自分は只今の處唯表面によつて平壤の地理を見る許りで實際に渉つて親しく見聞する事は出來ないが二三回ザット見ただけの自分の所見を語ると今日に於て先づ先決問題とする住宅不足を告げつゝある平壤の處は土地であらうと思ふ、今の平壤の地所を見ると家屋建築の

餘裕は十分　に存在してゐる、但しこれは只その土地から見た所謂空地が多いと云ふ點からの話であるが、そこでその土地が果して家屋を建築するに何等支障がないかどうかと云ふ事を考へなければならぬ、即ちその地所が私用であるか公用か或は官用かどうかと云ふ事で、こゝは陸軍省や滿鐵の所有地が隨分多い樣であるからそれが爲にその空地を十分に利用することが出來ないかも知れぬ、又私用地であるとすればそれが如何なる人の所有にあるか、又その所有者の狀態によつては之亦之を十分利用することが出來ないかも知れぬ、之等の諸點につきて十分攻究した上でないと自分としては具體的に意見を述べると云ふことは出來ないが家屋の缺乏に伴なふ住宅問題は土地の發展上一日も忽にすることは出來ない、幸ひ京城に在る

東京建物　會社が近く平壤に支店を設置して家屋に對する諸般の事業を執ると云ふことになつてゐるから、愈々事業に着手の曉は將來この地の發展に伴なうて住宅の供給も完全になつて來るであらう、獨身者の爲に最も必要なのは

下宿問題　である、現在の平壤の下宿屋狀態は自分としてまだ怎んな狀况かは知らぬが平壤は他に比して諸物價が非常に高い處であるから下宿料の點から云つても必ず高いに違ひない、且又完全な下宿屋がない爲に獨身者に取つては非常に不便を感ぜらる、これに就いて自分の考へを述ぶれば將來府で經營にするか或は株式組織にでもするか何にせよ大々的の合宿所を作つて一方

簡易食堂　でも建設すると云ふ風にすれば良からう、大阪や東京の大都市では既に簡易食堂の設備はあるが實際物價騰貴の此際時代に伴なうた設備であることは云ふ迄もない、我平壤もこれ等大都市の樣にもする必要はなからうがその

地に適應　した設備は是非とも必要である、要するにこの問題は資本家の頭にあることで唯目先の利益のみに走つては何時まで經つても實現する例しはない多少は自己の利害問題を打捨てゝも土地の爲に一肢を努力する考へがなくては目下の處發展なからう

發展と敎育　諸商工業の發展に伴なうて一般勞働者の增加は云ふ迄もない隨つて之等の子弟に對する敎育も亦決して忽にすべきものではないが勞働者たる者の立場から云へば

隨分困難　を感ずることが生じて來るであらう即ち生活問題から打算しても又作業の點から云つても忽ち感ずるのは子弟の世話である、此際相當な人達がよつてこれ等子弟の

寄遇所を　設ける樣にすれば彼等勞働者は夫婦共に十分に事業に從事することが出來るだらうから隨つて子弟の敎育も完全に爲し得ようと思ふ然し

此の問題　は前の合宿所問題と異なり全然慈善的の頭を以てかゝらなければ到底實現すべきものでないから何れ土地の發展に伴なうて相當な慈善家の助力を仰がなければならぬことである

平壤に於ける甜菜の作況
平壤製糖會社發展

日本製糖會社朝鮮支店に於ける本年甜菜作況につき其筋に發表せる狀況左の如し（平壤）

成育　採種田生育狀況は三月下旬母根植付けを終了する豫定なりしが寒氣再來し耕地凍結せしを以て少しく延期し四月上旬に於て植付を行へり同下旬に至り旱天打續き害虫發生を見たるも五月上旬より降雨適順にして虫害亦減少せり母根埋藏中の發芽土質の關係等により各地生育の狀況に相異あれども一般に發育良好にして花莖六尺に達せるところあり目下各地方共支柱立て作業中なり播種田生育狀況は四月下旬より五月上旬に亘り播種を了す、一部地方に於ては發育不良のものありたるも之等に對しては再播又は補植を爲し一般に順調に生育しつゝあり、再播の分は殆んど第一回間引を了し他は全部第二回間引を完了せり病蟲害の特に著しきもの未だ發生せず昨年の試作に比し優秀なる成績を豫想せられつゝあり

栽培　母根栽植は大同、黃州、鳳山の三郡內十二面二十二里に渉りてこの耕作人員九十九人總反別四十二町二反二畝十九歩なり播種田は大同、中和、黃州、鳳山の四郡內十二面二十四里に渉りこの耕作人員七十三人總反別二十三町七反二畝二十三歩なり試驗田は大同郡船橋里にあり、播種田二十三町七反二畝二十三歩中七反六畝二十歩は試驗田に充當せり

取引所仲買增員確定未し　八月一杯にも

仁川米豆取引所仲買人の增員說傳へらるゝや鮮內各地よりの希望出願者夥しく果して何れに白羽の矢が立つかは出願せしもの、各自貪心を抱いて其の決定の日を待ち草臥れて居るのである、何しろ仲買人と云へば氣苦勞なしに巨萬の富はお茶の子で儲け得らるゝものだ位に解釋してる世の中からは增員指定に接する

◇**新仲買人**　は何れも羨望の的となるに極まつて居る御本人亦大抱負を抱いて米界に活躍しようと期待してゐるのであるから、その處御鐘の番號が軋らぬ事が有難い神樣だと取引所關係や諸のお役所にお百度踏む熱心家も數多いと聞こえて居る、それほど仲買出願の希望到達競爭は暗に激甚であるらしい、肝心な取引所の方では相手が擬らアセつても駄目

◇**頗る重大**　なる案件でし苟くも人事に關する調査事項は然く輕卒に査定を了し得べきでないこと今や重役間には頗る愼重に調査審議せられつゝあるらしい出願人數は內地人二十六名、鮮人十六名合計四十二名で範圍は京城、仁川は勿論南は釜山、群山から北は平壤、鎭南浦、沙里院と殆んど全鮮に亘つて居る、此の內から指定さるべき人員は定員を二十名とする方針の下に五名乃至七名で先づ差當り仲買增員せらるゝのであるから其の希望の適否も頗る六箇敷い問題であらう而して增員は

◇**內鮮人何名**　なんと云ふかの區分は勿論なく今日では決してないと云ふ社長の意見であるから此の內に鮮人側から一名出るか或は三名出るか其の邊は全部一纏めにして充分の調査を遂げた上其の優良なる者を取極める事になつて居るが殊に取引所から當局筋に申達されてからの日時は要するのであるから今の處八月一杯にも決定を見たら先づ早い方であらうとは待ち遠しい譯である（仁川）

米穀の拔取が釜山も夥しい
由々しき問題

近來各地を通じて鐵道貨物の拔取り盛んに行はれつゝあるが如く殊に米穀類に其被害最も多きが如し現に釜山驛構內に積みありたる米穀類の拔取は日々夥しき數に上り棧橋附近の雜役に服するものゝ中には各自小袋を携帶し來り夕方歸路に就く頃には大きな袋を抱ね行くを目撃する事あり從來零米は掃集めを默認しあるが彼等の多くは故意に叺其他の目を盜みて巧に叺其他の包裝を破り拔取を爲すが如く其れに依つて生ずる損害は單に荷主のみならず輸送店並に船會社に於ても多大の迷惑を感じつゝあり過般釜山にて檢擧されたる小林某の如きは一例に過ぎず斯の如き有樣にては安心して取引及び荷役を爲すが如き事に困難なり被害が故意に破損したる包裝は船積其他運搬の際甚だしく取扱の困難を感ずるのみならず中味の減退は勿論にて荷主船會社荷受主鐵道其責任を辯ずり合ひ居れるが左なきだに過般開催されたる貿易商聯合大會にも鐵道船會社等の取扱不親切なるやの提案議事に上りたるが此の種の被害は其の波及する處廣く商取引きに多大の影響を及ぼすものなれば當局に於ても尙一層嚴重なる取締を斷行されん事を一般に希望しつゝありと某有力者は語れり（釜山）

銘葉寧越莨　改良三年計畫（三）

優良種普及　本郡に於ける優良品種は五六種を數ふるも何れも茄子草に及ぶべきものなり然れども茄子草は管內何れの地にも適應すべきにつき將來寧越莨の產額を增加し且つ價格を擧げる目的の下に先づ本年度に於て五百町歩に對する採種を行ひ大正十一年度に至り全く品種の統一をなさんとするものなり而して五百町歩に要する數量は全部組合に於て購入無償配附せしむる豫定なり

模範耕作者　耕作方法並に品質の改良を計らんが爲め模範耕作人二十人を選定し郡內組合技術員指導の下に他耕作者の模範たらしめんとするものにして耕作者には其の成績に應じ褒賞せんとするものなり

包裝の改良　在來方法を改め嚴より取外し莖こせしめ收納せんとするものなり

指導員配置　郡及び組合技手の指導を受け各面に於ける耕作改良上の指導をなさしめんが爲め耕作組合は指導員を設け之を面に駐在せしめんとするものにして一面宛許申請出願書の申告及び資金融通等に對して調査をなさしむるものとす

苗床と材料　其の苗床の設備に使用する器具の設備苗床の設備を改善し且つ幼苗中に於ける病蟲害豫防設備をなさしめんとするものにして所要藥品並に器具を先づ寧越面に設備せしむる見込なり

資金の融通　組合員四千人に對し殖產銀行より七百圓を借入れ融通せしめん計畫

委託販賣　自家用賣を除き全部組合の手を經て委託販賣をなさしめんとするものにして見込數量三十萬貫なり

大邱生絲組合　同業者の結束

生絲賣買の統一を圖る目的を以て過般設置したる大邱生絲同業組合は目下組合員三十餘名を有し假り事務所を大邱八雲町鎭石商店に置き準備中なるが同組合の規約左の如し

第一條　賣買生絲は精撰品を以て賣買する事

第二條　賣買は總て現金取引の事

第三條　賣買斤目及金錢受渡は其場限りとす

第四條　量目は組合員の取扱方に一任し賣買双方苦情を唱へざる事

第五條　委託賣買及仲買手數料は左の通りとす（一）生繭は百匁（一升）に付き賣買に付雙方より金壹錢宛（二）乾燥繭は壹圓に付き金壹錢五厘宛（三）生絲は壹圓に付き金壹錢五厘宛（二）乾燥繭及生絲共金高拾圓以內は一件毎に拾錢

第六條　委託荷物に對し變價減量の虞ありと認めたる時は直に適宜の相場を以て賣却する事あるべし

第七條　生繭に對し蛆蛾發生の虞ありと認むる時は荷主へ無斷燥殺する事あるべし但し乾燥料は當分の內左の通りとす（一）百匁に付（一升）殺蛹金一錢五厘本乾金二錢五厘

第八條　甲商店へ入庫したる荷物を乙商店に運送するか又は荷主に引取る場合は凡て甲商店に於て片口錢を申受くる事

第九條　預り荷物並に發送荷物に對し天災、火災、盜難、鼠食其他災害あるも一切其責に任ぜざるものとす

第十條　本組合員と取引をなさむとする方は本規約を承諾せられたるものと見做す

家畜飼料用草

大田郡畜產同業組合に於ては外南面大東里に家畜飼料用草の試作場を設け差當り白黑詰草及びチモシーの三種を各百坪に蒔付け試驗中なるが發芽生育とも成績頗る良好なるを以て來春は各面に種子及び株を配付し道路側等に移植又は播種せしめ野草淘汰を行ふべしと（大田）

○**石器獻納と寄附**　會寧の考古家小池奧吉氏は會寧にて發見したる石器を宮內省に獻納したることありしが其後帝國大學、國學院等へ石器百個を寄贈したるため褒狀及び木杯を贈られたりと（會寧）

昌慶苑の動物　東京で歡迎さる
（籠から出た鷺と豹の仔）

李王家の昌慶苑動物園から東京上野の動物園へ貰はれて行つて持て囃されてる動物が二種ある、それは對と籠鷺であるが此の前東京へ朝鮮から送つた豹は金網を喰破つて遂に檻を出て隣の

白狐を喰ひ殺し　たことがあつた籠鷺は昌慶苑動物園の人は能く知つてる通り紋文子を啣へてる樣な妙な鳥だが之は昨今卵を持つて二頭所へ巢籠りした相だ（東京）

日本名刀傳（九十一）
東京　田邊南龍講演
五郎正宗（十九）

秋『あ、濟まないことをしましたわ、我が子の愛に牽かされ、又一つには妾のせまい心から優しい心の五郎を憎み、殺さうとまでしたのは何たる邪慳な心でしたらう、それ程までに苦しめられても私を思ふ爲めに、其の身は切られ尙ほ其の上に憎い繼母の命乞ひをする、何といふ孝行なこと、美しい心、面目次第も御座いません、五郎、どうぞ赦して下さい』言ふより早く傍に置いた血潮に染まりし父右馬之丞の一刀取り上げ、あはや咽喉に突立てんとする、行光、慌てゝ刀を振取り『あ、危ない、待てお秋、今さらお前が死んだとて言譯にはならない、其所に心が付きさへすれば、詫の仕樣は幾らもある、濟まないと思つたら、五郎の傷の全快を神樣に祈つて遣れ、五郎や、お秋が改心して自害をしようとしたぞ今御醫者が來るから氣を確かり持つて呉れ傷は淺いぞ』淚を拂つたお秋は、五郎の側に兩手を突き、秋『永い間の心得違ひの詫の爲め妾が身を神樣に捧げて、屹度此の傷は癒します。どうか赦してお呉れ』鬼のやうな心も、美しい孝子の一念に和いでか、大地に頭を擦り付けて詫を爲す、迷へば煩惱悟れば菩提、兒手柏の裏表、凡婦の濁りが解く〱衣類を脫ぎ棄て裏の井戶に至り水汲上げ、ザアヽ……ツ、……幾十ばいとなく頭部より水を浴び、秋『何卒、五郎の傷の癒りますやう……妾の命は捧げます、何卒五郎の命を助け止めて下さりませ』と鎌倉八幡宮を一心に念じました、鍛も擲き、木の當り樣で本音が出ることは好く申したもの、これより先き多くの弟子は御醫者の家に告げたから、三人まで駈付けて行光が抱締めて居る五郎の傷の手當に及ぶ、十三歲の小伜、其の傷は三寸餘、御醫者も吐息を吐いた位、漸く傷の療治を濟ませ、頻りに心配顏、行光夫婦、森川老人、圓光夫婦、徹夜附切りで看病、醫術の進まない頃でしたが、幸ひに手當も屆き、お秋の心願も通じましてか、二日目あたりから漸く見直し、一時は醫者も頭を傾けましたが、好い鹽梅に日を重ねる毎に快方に向ふ、六箇月の後には全快、床上げの祝をしましたが、背に大傷が出來たので後に『背割正宗』と話に遺つたのでは御座います、これよりお秋は實子の新太郎よりも五郎を愛し、親子の仲が美しく、それからそれと評判になり、近郷近在までも五郎の孝行の名が響きました、『よしあしは我言はねど自ら知らぬこととまで透る笛の音』と云ふ古歌の通り五郎の評判は宏大なものです、越えて十五歲の時、鎌倉の北條家から五郎に刀の御注文があり、年端も行かぬ未熟の者ですからと御斷りしたが、強つての所望、若樣の御腰の物に致すのだから稀な孝行者に是非鍛つて呉れとの御頼み、そこで行光が同樣、五郎が遊座に直つて、始めて大小一腰を鍛ちました、それが見事な出來、此の時正宗と銘を付けて鑢を切りました、子供の作のやうではない、實に見事な出來榮であると言つて、非常に喜ばれ、多くの御褒美を下された、これが運の開きで評判となり、正宗に註文引きも切らず、十六、十七、十八と此三年に驚くべきばかりの上達をし、非凡の腕前となつた

商況
株式

東京現株　至急電報　（▲印騰貴　△印下落）

銘柄	一株拂込	三十日中値
鮮銀	一〇〇、〇〇	一九五、〇〇
同新	五〇、〇〇	▲一四五、〇〇
京電	五〇、〇〇	△六一、五〇
東拓	五〇、〇〇	八五、五〇
同新	一二、五〇	四六、〇〇
殖銀	二五、〇〇	△四八、〇〇

東京株式　至急電報

銘柄	三十日前大引	前日比較
東株	三一七、〇〇	同事
同新	三〇一、〇〇	同事
滿鐵	一六一、〇〇	四、〇〇高
一新	一三八、九〇	一、九〇高
二新	一〇六、八〇	二、九〇高

大阪株式　至急電報

銘柄	三十日前場寄り	二十七日後止比較
大株	三四五、〇〇	五、一〇高
同新	三四九、〇〇	、九〇安
日郵	二八〇、〇〇	一、六〇高
同新	一三八、〇〇	二、七〇高
商船	一八六、一〇	二、四〇高
同新	一三五、四〇	一、八〇高
鐘紡	三八五、八〇	七、三〇高
同新	三六〇、〇〇	六、六〇高
東紡	二六四、九〇	四、九〇高
東糖	一六四、五〇	六、七〇高
京取	一六一、九〇	三、四〇高
上取	一五〇、七〇	、七〇高

京城現株　標準値段　（▲印騰貴　△印下落）

銘柄	拂込額	時價
仁取	二五、〇〇	▲一四〇、〇〇
鮮銀	一〇〇、〇〇	一九六、〇〇
同新	五〇、〇〇	一四七、〇〇
東拓	五〇、〇〇	八六、〇〇
同新	一二、五〇	八四、〇〇
殖銀	二〇、〇〇	五〇、五〇
朝郵	二五、〇〇	四〇、〇〇
滿鐵	一〇〇、〇〇	一六一、五〇
第一	六〇、〇〇	一三九、五〇
第二	五〇、〇〇	一〇三、〇〇
電興	二五、〇〇	一八、〇〇
皮革	二〇、〇〇	一七、〇〇
東畜	一二、五〇	一五、五〇
朝紡	一二、五〇	二一、〇〇
朝紙	一二、五〇	二八、〇〇
商銀	五〇、〇〇	六二、〇〇
藺毛	一二、五〇	▲三二、〇〇
鮮煙	二〇、〇〇	二四、〇〇

仁取天井不知　四十圓臺突破

休日前既に三十圓を拔き五六圓迄の商內を見たる仁川取引所株は日曜內氣配も引續き昇騰の氣勢を示し居たりしが本休日明けには果然又復爆發し一躍四十圓臺を突破し四十二圓處の買聲あるも依然賣物無く商內極めて閑散なるが仁川よりの電話に依れば正午過

百四十四圓五十錢の新高値を以て**百枚**の商內を見たる由なれば豫て百五十圓臺の出現を待望されたる仁川取引所株も愈其の實現を見るに至れるも自ら一段落を告げたるやの觀ありて強氣の目標は既に二百圓に移れるが如く限りある株數に對して限りなき望みの集中すれば自然騰貴は免れざる處にして今日の人氣を以てすれば強氣の理想値たる二百圓も遠き將來には非ざるべく現に今日の手數料を以てしても可なり昨今の如き出來高を持續せば裕に四割以上の配當は可能にして而かも之れが値上後の收益增加は火を睹るよりも明かなれば假りに二百圓迄買ふも尙ほ五朱の利廻りに當るを以て之れを大株の新株に比すれば當分割安なる向あれば押目を見るが如きことなかるべしと示し居れり

▲仁川の氣配　一昨午後百三十圓の商賣取引を行はれ意外の珍値と驚愕を悔しむるも間もなく今朝は一躍飛びに百四十圓買聲の好況を示し殆んど天井知らずの狀態なるが現在の營業成績を見て將來有望と認めたる思惑者は二百圓見當に目星を附け盛んに買進み

値に[illegible]は思惑者の手に纒まされ居るが如き傾向もあり買方の氣勢當る可らず自然新値へ〱と買進み居るが如し

砂糖株好人氣

最近砂糖高に伴ひ買人氣は製糖株に集まれるものゝ如く一般に小高き氣勢を示しつゝあるが殊に日本製糖、鹽水港拓殖、南滿製糖の如き著しく目立ちたる方にて日糖百五十四五圓新六十二三圓どなり久しく二十五圓處に落付居たる滿糖も二割以上の配當可能の見越しにヂリ〱高となり昨今三十三圓處の買物內地より來りたる等にて人氣好況を呈せり又鹽水港拓殖も三四日前迄當地にて百二十圓處の商內ありたるに本日は既に百二十八九圓を呼ぶに至れり

滿鐵株一齊高

滿鐵株は東京株式特電の報ずる如く親四圓高第一新一圓九十錢高第二新二圓九十一錢高と孰れも一齊に騰したるは二千萬圓增資成立後の北滿活躍を見越しての買氣集中には非ざるかと云ふ

福島紡十圓高

買氣ある紡織中福紡株は最近特に十圓高にて異彩を放ちたるが右は增資權へとも稱せられあると近來合同紡の活動を示しあること關聯して或は兩者の合併が內々策し居るに非ざるかとの觀測も行はれつゝあり市場關係者の注意を惹けり

眼先好望株

最近大阪野村商店より好望株として指示し來れる諸株は左の如くなるが同店の囑目したる株に投資して未だ曾て損失を招きたる例無しと云ふ某客筋の述懷もあれば其の調査に何等か信ずるに足る根據あるものと見て可ならんか▲合同紡新株▲日紡新株▲日本毛織新舊▲滿蒙毛織▲鹽水港糖▲日本ビール新株▲大阪窯業▲阪神土地信託▲富士製紙新舊▲桂川電力新舊▲大阪瓦斯新舊▲東洋捕鯨

北濱雀

大阪相場の目先の味ちは鳥渡好くない模樣であるが只之れのみを以て相場の大勢を測る基礎とするのは聊か危險の觀がないでもない▲殊に大阪は兎に角東京と來では氣味ぢの點に於ては同樣であつても其根本の事情は大に異なる處があるので一厘氣味ぢに囚はれぬ用心が肝要だとある▲從來の相場は大阪本位であつた處から當地は鳥渡目先の一服氣味が見ゆれば東京は商然と於て客に買はれて地場が下らず賢成となつたと云か期せずして賣買への傾向がある▲恰も新東株現取引の紛擾も同樣の傾向から招いたので此の點に於て事前の現取引上現在の定期とは一の事情を含んで居る▲壓へに壓へた結果はドウなるかは疑問だが此等を無難作に取除いて見せるとカみ出したのは大阪方の買方でドウやら今惡策の最中らしい▲今後の株界は東京を最心として幾多の波瀾を醞かれる傾向があるから此處御注意召せと熱を昂むる向もある（廿八日）

標麥　挽麥　割麥
京城岡崎町　福岡精麥所　電話長貳壹六四

株式年鑑

大阪野村商店より例年發行する株式年鑑は調査の精確用意の周到なるを以て聞ゆるが今回新裝を爲して現はれたる八年度分を見るに其細目數倍々增加し殊に社債株式挿込の項をも新設して彌々斯界の活字引たるの價を增せり

米況

大阪期米特電　日後場

三十日前場
當限納會　三十七圓七十錢
中限寄付　……
寄付　三五、三二
高値　……
安値　……
止め　……

神戶期米特電

三十日前場
寄付　三五、三五
高値　……
安値　……
止め　……

下關期米特電

◆三十日前場（當限〇）　中限　先限
寄付　[illegible]
高値　[illegible]
安値　[illegible]
止め　[illegible]
新甫　二十錢下鞘（明日休會）

仁川期米　三十日前場（上放跡安）

▲第一節　今朝天候各地發天各地入電未着なるも日曜前の北高を移して買人氣旺盛に三十八圓五錢と二十六丁高に寄付き十三錢と引上げしも高値は買物續かず十錢揚みを採合ひ十一錢と引け▲第二節　當中出來不申大阪前寄當限納會中限三十七圓七十錢先三十五圓三十一錢兵庫三十五圓二十五錢と同事の入電に買方も氣勢挫きてヂリ〱安の三十八圓丁度と弛みしも押目は㋑店の買いて〇四錢と返し引▲第三節　當中出來不申先〇二錢よりヂリ〱安の三十七圓九十六錢とたれしも押目は㋑店の買物に九十九錢と返して引▲第四節　先〆七錢より九錢と反し五錢引▲第五節　先〆六錢より三錢と弱み困買に十錢と返し〆八錢と半節に散會せり市況は買方見送りの一面安値は防戰的買進みあり採算よりすれば如何にしても割高の觀ありこれ何分買方手揃の折柄丈けに兎角買に嫌氣を催し其結果は高値持合ひとなり大阪も三十五圓處は下落ぶり跡五圓六十錢と高移りを入れ強氣好く買進み十錢と返せしが引跡氣配十五錢の買人氣にて強硬を示したり

三十日前場
寄付　卅八圓〆一錢
止め　卅八圓〆八錢
高値　卅八圓十五錢
安値　卅七圓九十五錢
◇出來高　十萬三千五百石
◇公定値段
一節　卅八圓十一錢
二節　卅八圓〆五錢
三節　卅七圓九十九錢
四節　卅八圓〆六錢
五節　卅八圓〆五錢
▲帳入値段　三十七圓八十六錢

新甫同鞘當見

七月二日より發會すべき新甫九月限內氣配は八限と同鞘見當の三十八圓三十錢處を唱へられ居れり

五十石單位廢止

仁川米豆取引所に於ては從來建玉の單位五十石より取扱來りしが今回五十石建を廢止し單位を百石に引上ぐる事に協定成り七月二日より發會すべき新市九限より之を實行する事に決せり

臨時休會

明七月一日は講和成立の祝意を表する爲め臨時休會

市場雜觀

本日前場を以て中限に廻らんとする八月限は新甫以來僅か一箇月間に四百五十三丁の暴落を演じ又一面には三百九十八丁の反撥あり其間百丁以上の波瀾曲折を繰返して好く買方は硬軟の心臟を試めしめしが買方は飽迄採算を根據とせるのみか逆に漸騰の形勢を示したればマバラ筋は幾分引退きの傾向なる阪地相場が仁川市場の目標とする嫌氣を催し煎れ退きの傾向なる場は何となく場面惡化して入電度に驟落を移して居る綴いては正米も五六十丁安を移して正米市場は一向活氣が振はんと云ふ狀態である買方は飽迄期近に攻める正米を抱く腹かは疑問で此の高い米を受取るとは中ふより寧ろ前れ取り主義であらう尤も一般の豫測である併し如何に天下の金力家でも社會の大勢に敵する事の出來ぬは當春の失敗で好き說明をして居りますまいが去れ

ば內地[illegible]買方の防口であ[illegible]と或は弱氣筋は語りしが又[illegible]地には當局の對應策として外米輸入に對し一石に付十圓宛の補給をなす時もあれば如何に不干涉主義の當局にしても米價の緩和策に苦心せる事は今更論ずるの要なきが社會の人氣も諸物價の暴騰に反し米價獨り安きを許さぬと云ふ事が漸々念頭に染み込むで來た斯ふなると却つて米界の形勢が一變して賣方の時代となりはすまいか本年の作柄を今より論ずるは早計とするも稍付半作といふ事となり況して天候としては意外の好順氣を示して居る此の調子より推しても無茶な買煽も出來まい樣にも有る買方として米價高に苦しむ貧民を見て喜ぶ者はあるまいが此の邊の値頃は硬軟の氣迷ふも無理のない事とは某期米界老練家の談である

今朝立會は休日前の阪地高止めを入れてマバラ筋の離氣筋の手詰急ぎに伸惱みヂリ〱安の八圓丁度と下押せしも押目は㋑店の買物に下造りしも氣乘り過ぎ月勞りしと共に講和相場の實現期待もあれば底意は甚だ手堅き模樣であり

京城正米市場

河節商地は稍閑散に續いて昨今の收穫に着手せる等にて出穀少く且つ稍高の關係上漸く揩の不採算を唱へ荷主相變らず高張り居れる上鮮商の思惑依然として衰へず此處政府の外米輸入計畫及び願氣變め等に眼先の低落氣構へによる買人側の附値安も一向利目激きが如く必需口は止むなく賣人の主張に引かれて進むの外なき有樣にて望取りつゝある有樣にて市況は混沌の裡にも底意手固く持合ひを呈し居れり相場は地摺神力並物三十五圓八十錢上物三十六圓二三十錢唱へなり

平澤鮮商の思惑

平澤地方鮮人の米に對する思惑の高き事は近來異常といふべくして彼等としても調節策の影響は豫期せる模樣なるも內地供給不足の聲に前途四十圓の實現を氣構ふのみならず尙調節の効果如何によりては五十圓の高値をも見るや測り難しとの觀念強し目下同地方鮮人側の手持米頗る多く尙資力乏しき向きは田地を抵當に資金を調達し以つて米の思惑を試みんとする傾向あるやに內地商人としては昨今釜山方面或は內地移出に商談を進むよりは自地の鮮人に賣渡す方遙かに利益多く自然對商商內行はれ居れるが如し

南大門廻漿

平澤白米七二〇叺開城小豆八〇叺一山白米一〇叺沙里院豆五〇〇叺汶山粉三六叺新義州三五叺瑞興小豆七八叺水原玄米五七〇叺原白米七七叺平澤粉一九叺平澤玄米三三叺全義玄米三四〇叺讓汶府粉二〇四叺南川白米三三叺新幕小豆二六叺川小豆二七叺

仁川正米市場

期米騰に得かされて一躍三十八圓と買進みし仁川正米市場も內地期正米安を移して活氣振はず一切買方見送りの狀態にて五六十錢安の平澤三等神力三十七圓五十錢見當を唱へ居るも賣方として警戒を催し自然手控なれば買方に於ても安値は資急かず取引皆無の商狀なり地摺玄米も緩ひて安人氣の三十六圓より五圓八十錢見當に弛み精米口のや取引に過ぎざるが如き家の入荷は更になく少く瀏搗業者は殆んど休業の模樣なるが僅か五十俵位ひの商內として黃海道在來種十錢五厘、忠南道神力種十錢八厘見當の二三厘安を唱へなり

▲大豆保合　白川物十五圓七十錢龍山物十七圓二十錢長湍十六圓見當に商談出來せるか如し

各地正米電報

（二十七日）
群山三等米三十九圓三十錢
（二十八日）
一、釜山三等正米三十八圓四〇錢
一、仁川　三十七圓五十錢
一、大阪に於ける群山三等米　四十一圓七十錢
（二十九日）
一、釜山三等正米三十八圓八〇錢

三品
大阪三品特電
綿布は警戒裡

當地綿布は前場來阪三品反騰に刺激され氣分は穩かなるも[illegible]

橫濱生糸電報

二十八日午前十時發（前橋入電）　[illegible]

演藝案內

本町一丁目　有樂　喜樂館　電話九七七番　二十七日より特別提供
米國モースプ社ルス會社特作品　ユージン、ツォール々氏原作　乘馬用意　全五
參考寶劇　人形加州ヨセミテ公園　チャーリー

日活會社代表的傑作品　新派悲劇　海の人　全七卷
報知新聞連載小說

京城本町　壽座　電話五七八
寄席　三十日午後六時開演
久公サーベル　三場
若い女房　二場
孝の德　二場
手
サッポロビール會社大々的後援

日本活動寫眞會社代理店
本町二丁目　大正館　電話八七三
六月廿七日より特別大興行　料金普通
米國キーストン會社特作　北英國アンティック
女優の嘆　原名　ニコ〱　活劇　無効の花束
鐵の爪　第二回　七貫珠
日活新派　撮影　松之助・扇太郎合同劇
舊劇　松前屋五郎兵衞

本町二丁目　電話一〇五　七月一日より
壽館

汽車時間

▲この頃の素晴らしき!!賣行

トブやうに賣れて行く

桃谷研究試驗所創製

美顔白粉

▲光榮ある美顔化粧料三十六種の内

桃谷順天館　□東京市日本橋區本町四丁目□　□大阪市西區靭南通二丁目□

京城日報　第五版

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號長六千九番 振替京城三〇〇番
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介

體育奬勵論（上）

京城日報

併せて京城府當局の方針に及ぶ

教育の重んずべきは如何なる時に於ても變ることなしと雖も、其の内容に就ては、時宜に應じて緩急を酌量し、適當に輕重を定むるの必要あるべし、例へば教育を大別して知育德育體育となすが普通の分類法にして、本來の目的は、三者共に徇齊の向上を期するに在りと雖も、環境の事情の殊なるに從ひ、或場合には知育に重きを置き、或る時期にて德育又は體育を主として奬勵せざるべからざることあり。明治の初めに在りては、國家の存立發達の必要條件として、急速に國民の知識を開發し、物質的文明を吸收して、諸外國に對抗せざるべからざると、眼前の急務たりしの故を以て、教育の方針は專ら知育の一方に向ひ、體育德育は自然閑却せらるゝの有樣なりしは、當時の形勢之を然らしめたるなり。而も當時は封建の餘習未だ泯滅せず、比較的堅固なる家庭道德の存在せるあり。且つ青年子弟は大抵武術又は野外運動（狩獵を主として）等を以て身體の鍛錬に充てたるが故に、德育の缺陷を補ひ得て、別段體育の破綻を現ぜざりしも、歳月漸く移るに從ひ、知育偏重の弊、社會的に個人的に、次第に掩ふべからざるものあるに至りしを以て、明治二十三年に至り、教育勅語の煥發あり、國民の遵據すべき道德の標準こゝに一定したる譯なるが、多年知育偏重の習慣は容易に脱却せず、殊に高等教育に於いて、知識技術の習得を以て、教育の全部なりと認むるの風、今に猶存在するの有樣なるを以て、過般の臨時教育會議に於いて、學制更革を議するに當り、特に此點に重きを置きたるは、世に隱れなきの事實なりとす。かくて德育に關する注意は盛んに喚起せられたるを以て（其の實効の舉否は暫く論ぜず）次に來るべきは必然體育問題たらざるべからず。頻年我が國民體格の漸次惡化しつゝあるは、年々徴兵檢査に於て、明瞭に證據立てらるゝ所にして、其影響する所は獨り軍事上に止まらず、遍く國家社會の上に暴露せらるゝを免れず。是實に帝國深憂の存する所にして、一たび思ひを百年の後に致さば、慄然として心膽を寒くせざるを得ざるべし。畢竟知育の發達より生ずる、物質的文明の大部分は、社會の裝飾享樂の道具にして、たとひ之が一部を缺くと雖も、國家民族の存立に對しては、何等の影響を及ぼすことなし、之に反して德育體育の不完全なる結果は、國民の思想と其の體力に救ふべからざるの缺陷を起し、根柢的に立國の基礎を搖撼するが故に、教育の第一義は前者に在らずして、無論後者に在りと雖も、因襲の久しき、此大切の德育體育を以て、恰も知育に伴隨するものゝ如きの考へが、今猶社會に彌漫しつゝあるは、吾人の憂慮を禁じ得ざる所にして、此の謬れる考へを矯正するにあらざれば、國家の將來、國民の前途、最も恐るべき運命に接せずんばあらず。羅馬は曾て全歐洲を席捲し、世界に空前絶後の大帝國を建てたるも、其の末路の崩潰は、實に國民思想の頽廢と其の體力の衰耗に在りき。日本帝國たるもの以て殷鑑とせざるべけんや。況んや歐洲大戰の終局は、軍事的に於ては、假令世界の小康を保ち得べしと雖も、各國民の間に於ける生存競爭は一層激烈に趨かざるを得ず。此際に於いて我が國民思想の動揺、我が國民體力の減退を見るは、帝國をして世界競爭場裡の落伍者たらしむるものにして、而も其の罪責は當然吾人の頭上に落ちざるを得ず。豈に奮起して之を匡正するに全力を傾注する所なかるべけんや。

平和來！

米國視察雜感（三）

宮舘貞一氏談

米國の鐵道は戰前迄は民間の經營であつたが同國の參戰と共に軍隊軍需品輸送の必要上國家で管理することゝし同時に貨切車は成るべく出さないことになつた。所が私の桑港滞在中聞いた處に依ると日本人の或者はさう云ふ場合をも辨へず貨切車を要求した。尤も其團體は相當に多人數ではあつたが兎に角鐵道側からは此の際だから出來得れば普通の客車にして貰ひ度いと云つたが彼の日本人等は頑として其の要求を固執し遂に一萬弗か幾らか出して桑港から紐育迄貨切で旅行した。斯の如き我儘勝手なことは米人は如何に金持と雖も斷じて爲さゞる處で貨切車を使用すべからずとは云はなくても國民がちやんと當局の意志を諒解して決して無理の註文はしないのである。昨年米國は歐洲大戰に參加せし結果として初めて國民として生れ出て其自覺を有するに至つたのである。而して從來の米國の結合は國民的結束と云ふよりも共同生存の上に築き上げられたる一種の鞏固なる社會的結合に外ならぬのである。學校官衙及び教會等の何れに行つても米國の國旗は揭げられてあつたが、斯の如き現象は戰爭參加以前にあつては絶無であつたと云ふことである。私は滯米中學校及び教會等をも時間のある毎に參觀致したが、各教室や教會の敷地等には米國國旗を飾り付け、且國歌を合唱することを定例として居たのである。斯の如く今回の大戰は米國民に對して所謂「正義の爲め」「人道の爲め」「世界の平和の爲め」と云ふが如き道德的觀念を促進したると同時に内に在りては此の必要上國彩大にして散漫なりし大寄り合ひ世帶の結束を國民的に鞏固ならしめたのである。國民的に結束を固くし義勇奉公の觀念を〔illegible〕き信念を〔illegible〕の上に醞釀した原因は、前申し述べた通り教育の普及徹底と宗教の感化並に社會の上流に立つて居るものが率先して模範を示した結果に外ならぬと思ふのである。教育の普及、徹底に付きては少しく補充的に申し述べて見たいと思ふ。米國の教育方針は少數の偉人傑士を作るにあらずして共同生存の水平線上に立つことを得べき程度に於て粒の揃つた平凡なる市民を作ると共に人間の廢物がないやうにしようと云ふことを主眼として居るのである。學科の程度なども我が國に比し餘程劣つて居る。小學校などでは智育よりも寧ろ體育を主として居るやうに見ゆるのである。又小學校時代から圖書館などに出入して自修することを大いに奬勵して居る。要するに各人の意思を自由に働かせ之を傷害せぬやうに尊重し且發達せしめ學校は單に援助機關として乃ち支柱として其の本分を盡すに止るのである。之を日本の現狀に對照すると其の間非常の差異があるやうに見ゆる、頭が重くて足がふらつくやうな神經衰弱症の患者のやうな青年では小刀細工的の小利巧な仕事は出來るかも知れぬが國民たるの運命を背負つて立つべき世界的の雄圖は迚も覺束なく思はるゝのである。

△訂正　前號米國の各學校とも倫理道德に關する科程がないとあるは「米國の各小學校には倫理道德に關する修身科の設けがない」の誤に付訂正

黎明講演集 第四輯

果然！！囂々たる英國の〔illegible〕
法學博士 福田德三　黎明と啓蒙
文學博士 桑木嚴翼　固定文明より新文明へ
三宅雪嶺　支那問題について
吉野博士　吉野作造

一冊貳拾八錢 郵税二錢

發行 株式會社 大鐙閣　東京 大阪 振替

フランス大革命史

文學博士 箕作元八先生著

卅年の研鑽　學界近時の一大偉觀

全一冊 前編發行 四圓五拾錢

フランス大革命に顯れたる自由、平等、博愛、大革命の三大標語は、今日再び新意義を以て叫ばるゝのみならず、かの民主主義、民族主義、文化主義、軍國主義、國家主義、社會主義、帝國主義等一切の思想は皆フランス大革命に萌せる世界改造の精神は今次の大戰を經て正に其收穫期に入れり戰後鬱勃たる大民衆的運動の歴史的背景たり思想的基礎たるものはフランス大革命也

東京神田 冨山房 振替一〇五

雄辯研究

七月號出づ 日本一演說專門雜誌

寫眞術

一ケ月間に卒業して就職の出來る 月收百圓

失權公告

朝鮮煙草株式會社　大正八年七月一日

家庭必須の常備藥

朝鮮總督府認定消毒劑

アイゼル

最も恐るべき肺結核、流行性感冒、チブス、コレラ其他種々なる傳染病の豫防に欠くべからざる本品は消毒力强大にして無比の防臭劑となり一般の皮膚病及切傷發傷火傷凍傷にも特効あり然かも無害無毒にして廉價なるが故に家庭に必須の常備藥なり
○本品は各地著名の藥店にて販賣す
○請願次第報告書は御申越次第送呈す

宜壽堂井上藥品部　京城鍾路　電話八〇八　振替京城八九九

謹告

炎暑之候各位益々御健勝ノ段奉賀候御案内ノ通リ本土蠶業ハ當局ノ御指導ト且各位ノ御勉勵トニ依リ長足ノ進歩ヲ來タシ愈々本土ニ於ケル一大國産ノ機運ニ向ヒ候段慶賀ノ至リニ奉存候今般弊社左ノ營業ヲ開始仕リ誠實勉强迅速ニ御取引仕候ヘバ永久御引立ヲ蒙リ度多少ニ不拘御用命ノ程偏ニ奉懇願候
敬白

京城府漢江通六番地　電話長五五五番　振替京城三八九二

朝鮮蠶絲株式會社

取締役社長 前田喜市
專務取締役 井上文作
取締役 大林宇吉
同 金子丈作
同 鈴木伊右衛門
監査役 高橋小十郎
同 青山善右衛門
同 小松德三郎
相談役 前田鑑次
同 矢野小太郎

△營業種目
一 玉絲製造
一 蠶繭賣買
一 蠶種製造
一 桑苗育成
一 蠶具及農具

紀念大賣出し

平和克復　壹割引　自七月一日至七月十日

京城本町一丁目　平井時計店　電話二〇一・二六一番　振替京城一〇二〇番

一 桃木瓜千四百本　右賣拂ス詳細ハ七月一日以後ノ官報ヲ見ヨ　朝鮮總督府

第一回株金拂込公告

一 拂込金額 壹株ニ付金拾圓也
一 拂込期間 自大正八年七月十九日 至大正八年七月二十三日
一 拂込場所 株式會社朝鮮銀行本支店（東京、大阪、下關各支店、神戸山張所）
右拂込相成度公告候也
大正八年七月一日
株式會社 朝鮮殖産銀行

淑女畫報

七月號 ▼人形の歌 ▼不老長生と心の持ち方 ▼主婦の片手藥草 ▼有栖川宮妃殿下と各宮殿下 ▼愛國婦人會 ▼久邇賀陽二殿下 ▼女學校遠足 ▼家庭趣味 ▼婦人記者の告白 ▼家庭小說 心の家 ▼事實小說 愛の憾 ▼水垣男夫妻と其繪畫

東京 博文館

最新刊

鮮譯國語大辭典　少品集

京城本町一丁目 大阪屋號

左官建築材料

セメント 石灰 左官材料一式 各種色土 砂 各種塗料用品 布海苔 苧苆 左官用東京鏝 各種建築材料 火山灰 硅藻土 各種耐火煉瓦 煉瓦 土管 各種苆類製造 鑄工製鐵所用

小野田セメント會社平壤支社製

京城瓦斯電氣株式會社製 瓦斯コークス コールタール 特約販賣
九州火山灰合資會社 特約販賣 石灰特約販賣

京城旭町一丁目 卸商 戸澤商店 電話長九八四 振替六〇八六

月七十圓 募集
七十一回
七月八月くじ

總督諭告

五ヶ年に亘れる歐洲戰亂も、今や漸く其の局を結び、愈々平和克復したるを以て今後は益々內鮮一家の實を擧げざるべからざるに、鮮人中には猶不逞徒輩の煽動を受け、獨立の迷夢に彷徨する者なきにあらず。依つて長谷川總督は七月一日附第三回の諭告を發して其の嚮趨すべき所を示し、時運の進步に寄與すべきを諭せり。其の全文左の如し。

諭告

本年三月以來各地ニ勃發シタル騷擾ハ今ヤ官憲ノ鎭撫ト民衆ノ自省トニ依リテ全ク鎭靜ニ歸シ首魁者ハ既ニ檢擧セラレ無智ニシテ一時騷擾ニ雷同シタル者ハ悔悟シテ正業ニ復シ有識階級ニシテ漫然不逞者ノ煽動ニ乘シタル者亦概ネ前非ヲ悔ユルニ至リシハ誠ニ不幸中ノ幸ト謂フヘシ然レトモ多數民衆中尙未タ迷夢醒メスシテ架空ノ獨立思想ニ囚ハレ又或ハ獨立ニ對シ半信半疑ノ間ニ彷徨シテ去就ニ迷フ者アリ爲ニ國民ノ一致ヲ缺クコトアラムカ是レ啻ニ各個人ノ幸福ヲ呪咀スルニ止マラス又應ニ施政ノ進捗ヲ阻害スルニ至ルヘシ

抑モ併合ノ目的タル內地人及朝鮮人ヲシテ互ニ相倚リ相扶ケ打テ一丸トナシ以テ東洋平和ノ基礎ヲ確立スルニ在リ朝鮮ハ即チ帝國ノ版圖ニシテ其ノ屬邦ニ非ス朝鮮人ハ即チ帝國ノ臣民ニシテ內地人ト何等ノ差別アルニ非ス隨ツテ朝鮮ノ統治亦夙ニ同化ノ方針ニ基キ一視同仁ノ大義ニ則リ政ヲ偏私ナキヲ期セリ唯言語習俗ノ同シカラサルアリ文化亦一日ノ前後アリ是ヲ以テ百般ノ施設全然其ノ軌ヲ一ニスル能ハス時トシテ其ノ制ヲ異ニスルアリト雖是レ過渡時代ニ於テ已ムヲ得サルニ出ツルノミ固ヨリ孰レヲ重シトシ孰レヲ輕シトスル爲サムヤ他日同化ノ績擧カルニ至ラハ內地人ト朝鮮人トハ劃一制度ノ下ニ立チテ均シク皇化ニ霑被セムハ言ヲ俟タサル所ナリ本總督ノ大命ヲ奉シテ夙夜朝鮮ノ開發ニ淬勵スル所以亦畢竟朝鮮ヲシテ一日モ早ク此ノ期ニ達セシメムトスルニ在リ時恰モ歐洲ニ於ケル長年ノ戰亂既ニ其ノ局ヲ告ケ今ヨリ宇內萬國ハ齊シク和平ヲ樂シミ各其ノ國力ノ充實ニ日モ亦足ラサラムトス洵ニ慶幸トスヘキナリ庶民ハ宜シク內外ノ情勢ニ鑑ミ併合ノ眞義ヲ解シテ互ニ融和提携シ交ハルニ一家ノ親ヲ以テシ結フニ昆弟ノ誼ヲ以テシ斯土ノ發達ト斯民ノ幸福トヲ企圖シ以テ併合ノ目的ニ副ハムコトヲ勗ムヘシ若シ騷擾ノ餘波內地人ト朝鮮人トノ間ニ障壁ヲ設ケテ互ニ嫉視反目シ驕慢他ヲ凌キ猜疑人ヲ排スルカ如キアラハ是レ實ニ一時ノ反感ヲ以テ百年ノ大計ヲ誤リ國際ノ禍競ニ國家民族ノ危機ヲ招致スル者ナリ豈戒愼セサルヘケムヤ本總督ハ騷擾勃發以來屢々諭告ヲ發シテ各自ノ妄動ヲ戒飭シタリ今又其ノ鎭定ヲ機トシテ茲ニ告クルニ衷和一致ノ要ヲ以テス一般民衆其レ休戚相分チ利害相共ニシ戮心協力以テ時運ノ進步ニ寄與セムコトヲ期セヨ

朝鮮總督伯爵 長谷川好道

前獨帝審問問題

四頭會議は前獨逸皇帝審判問題の審議に沒頭し居れり(巴里電報)

各國事務所閉鎖

我特使の歸朝は七月下旬か

講和成立に就き各國講和委員事務所は殘務整理終了次第八月下旬迄には孰れも閉鎖す可く帝國の巴里講和委員事務所も亦同樣閉鎖され西園寺侯牧野男は七月下旬迄には歸朝の途に就く可く隨員書記官等も亦順次歸朝す可し而し珍田子は倫敦に歸任す可く同大使の歸朝說あるも此際歸朝する事無く今後重要問題解決の任務に當る由傳へらる(東京特電)

獨條約承諾通牒

獨逸の講和條約承諾の通牒は簡にして僅か一頁に過ぎず條件を容認せるも條件の苛酷なるに對して抗議する處ありたり該通牒の一部に曰く聯合國は武力に依り獨逸國民より彼等の名譽を剝奪せんとの目的を有する條件の容認すら爲さしめんとするものゝ如く獨逸國民は此の課せられたる條件を外部の行動に依り防禦するの途無く優越なる權力に屈し而も未だ嘗て聞かざる屈辱に對する吾人の非難を開陳する事は避くる能はざるも吾人に課せられたる條件を承諾し調印する事を宣言するものなり(紐育電報)

獨逸新內閣方針

獨逸ワイマール國民議會がバウエル內閣信任を可決せるは共筋にも報ありたり之れ獨逸國民が如何に講和條約調印を要望せるかを證するものにて新內閣は封鎖解除に依り缺乏せる食糧及び物資の輸入を計り以て饑餓に瀕せる國民を救濟する方針に出づるものと觀測さる(東京特電)

英國飛行船壯擧

英國飛行船アール三十四號はウイルヘルムハーフヘン、ウニベルトハーフヘン、キトル沿岸濱、傑及びバルチック沿岸を包囲せること千哩の巡洋飛行を終りエシクトに歸着したり右飛行船は伯林を訪問せざりしが歸途二十四時間に亘りて颶風中を飛行せり(倫敦電報)

興業貸付認可

……行する豫定なりしが四銀行に……より大藏省に申請し來りたる……

國際汽船資金

……では其內六千二百萬圓(……)……以て同省にては……

露艦沈沒の原因

ルーター社の聞知する所に據れば過激派軍艦オルク號を沈沒せしめしは英國潛航艇にあらず同號の沈沒は機械水雷に觸れたる結果なるべし(倫敦電報)

露都陷落近し

ペトログラードの運命は漸く旦夕の間に迫り過激派に對する白衞軍は芬蘭方面より同市を脅威しつゝあり即ち白衞軍は芬蘭人エストニヤ軍間には何等連絡あるにあらざるも期せずして三道より進擊しつゝあるものにして之れに加ふるに英國艦隊の援助ありペトログラードの攻擊は當初甚だ困難にして其効を收むるには頗る長時日を要すと思はれしも過激派はコルチヤック軍を恐るゝ事甚だしく赤衞軍の精を拔て莫斯科方面に備へたれば芬蘭方面は守備頗る手薄となりペトログラードの咽喉たるクロンスタット、ゴルガを救援する能はざる始末なり然れども過激派は漸く事態の急なるを看取して一箇月前三千人の北露部隊をガツチナ地方に進め赤衞軍亦之れに參加して一萬五千人に達し今や刻々重大時機に迫りつゝあるを思はしむ而して各種の報道を綜合すればペトログラードの運命決定の時機甚だしく接近せる事は疑ふの餘地なし(ヘルシングフォールス電報)

田の胸中如何

田文烈氏は安福派が自己を總理に推薦せるを聞知し二十八日徐總統に宛て總理たるを肯んぜざる旨申送り同時に農商務總長宛て休暇願を出し退京準備を爲せり右に就き安福派一部にては之れ田氏が眞實總理たるを願はざるの決心を示すものなりと觀測し又一部にては之を唯だ形式に過ぎずと觀測し居れり(北京電報)

英公使總統訪問

英國公使ジョルダン氏は二十七日徐總統に謁見し獨逸は愈々講和條約調印を承諾したれば茲に聯合國側の勝利確實たる旨を告げて慶賀の意を表し尙西藏問題に付き意見を述べたり(北京電報)

山東交涉開始期

多少時日を要すべし

支那政府は山東問題につき國內の形勢に鑑み還附聲明の一札を得民心を緩和せんと欲し速に其協議を開くべき希望を有し居れるが我外務大臣は講和條約批准後に於てこれをなさんことを聲言せりこれに關し消息通の觀測する處によれば正式談判は無論我外務大臣の聲明する處の如くなるべきが日支兩國の圓滿なる解決を見るまでにはその以前に於て彼我の意志疏通を圖り置くの要あるべし從つて纔め下相談をなすに至るやも測られざるも尙五國財團との關係上多少の時日を要すべし然して青嶋に就いても問題たるべき居留地の限界に就いては目下該地に居住する日本人は約二萬に達すべきを以て該人員の居住すべき地域を有せざるべからず尙邦人の居住するものは官吏小商人を除き概ね大港小港に含むを以て同地附近市街を含ましめざるべからずとの判斷を得べし又大港東方沿岸は目下我民政署に於て多大の費用を投じ設立中にあるを以て其の地域も亦大いに考慮を拂はざるべからず要するに獨逸の租借せる廣大の地區は速かに之れを支那に還附し我に獨逸の野心なきを知らしめ日支相提携して青島の繁盛を圖るべしと(東京特電)

聯隊旗奉還式

各聯隊に保管しありし後備步兵聯隊旗は今回是れを奉還することゝなり全國七十七聯隊旗を各旗手捧持し二十九日全部著京し三十日午前八時陸軍省に集合宮中に參內東溜間に於て各軍旗を整列し田中陸相より內山侍從武官長を經て奉還手續をなし陛下には侍從武官長よりの奏上を聞し召され同間に出御天覽遊ばされたりと承はる(東京特電)

麥は平作

本年度第一回麥作豫想額は大部分報告を取纏めたるも尙未着の分は電報を以て督促中なるを以て數日中に農商務省より發表するに至るべし尙本年度の成績に關しては平年作位なりと觀測さる(東京特電)

講和成立祝電

東京市は市長の名を以て講和成立祝電を講和會議長クレマンソー氏並に西園寺侯等に發送したり(東京特電)

板垣伯爵病む

伯爵板垣退助氏は宿痾の氣管支加答兒病勢昂進の爲め親近者附添ひ看護中なり(東京特電)

山本農相引籠

山本農相は數日來感冒にて熱高く引籠り靜養中なり(東京特電)

ロ中將の出發

來朝中なりし露國陸軍中將ロマノフスキー氏一行は卅日午前八時半東京發敦賀經由浦鹽に向け歸國の途に就けり(東京特電)

總督東上

長谷川總督は神田秘書官其他を隨へ來る四日又は五日出發東上すべく七日迄に東京著の豫定なりと

總督祝賀會日割

長谷川總督は平和克復祝賀の爲め總督官邸に於て左の日割に依り內外官民の重立ちたる者百餘名を招待すべしと

七月一日午後七時晩餐會

列席者主人、山縣政務總監、內野旅團長、荻田總務局長、國分次官、大野參謀長、李完用伯、尹賀侍、李副將、嶋參將、李參將、具警務官、兪參與官、坂出技師、新田技師、芳賀院長、佐藤軍醫部長、木村經理部長、磯安警察官、豐永所長、岩本、草場、城、中村、勅使河原、寺田、鈴木各法官等

二日午後零時午餐會

主人、山縣政務總監、宇都宮軍司令官、淨法寺師團長、各國總領事、領事、副領事、鈴木小原持地各長官、渡邊法院長、松永道長官、久水外事課長、兒島總長、國分局長、青木局長、大塚參事官等

三日午後零時半午餐會

主人、山縣政務總監、金谷府尹、美濃部總裁、三島頭取、松平理事、久保局長、高野馬問兩店長、牧山岡田兩代議士、朴泳孝侯、李完用、李根湘兩男、加藤、山口、萩谷、釋尾各社長、橘、山口此經各特派員、賀田社長、本取締、松崎支配人、道旗泰、町本副會頭、古城管堂、藤井寬太郎等

條約履行監督

四委員團組織

對獨講和條約調印後直ちに條約履行に遷る豫定なるにより講和會議は既に條約履行に關する各種監督委員を設置して其準備を整へつゝあり右委員は(一)國境制定委員(二)投票及び行政監督委員(三)鐵道監督委員(四)獨墺兵備實施監督委員の四團に分たれ調印完了十五日目より職務執行の順序なり而して帝國よりも委員として之れに加入する總人員は五十五名にして內十六人は陸軍々人九名は海軍々人三十名は外務省側より派遣し其の他十名の通譯並びに補助員を送ることに決したるなり

陸海軍特務員

……に於て帝國は地理的關係上委員就任迄に假に本國より赴任する日子を有せざると在外公使館員の數過少なることは著しく委員組織に不便を感ぜしむる者あるも是等委員は講和條約終了後も一定期間存在し國際政局に於ける帝國の地步と至大の交涉を有するにより機宜の處置として陸海軍委員の人選は悉く帝國講和委員の詮衡に一任せり而して陸海軍委員は陸海軍側として使命を果すものに非ずして外務關係筋の監督を受くることゝなり居れり右に對し陸軍側の人選內容を聞くに、現に陸軍より各種の使命を有し歐洲方面に滯在せるは百二三十名に上り此內より之を選擇するものにして步兵大佐渡邊……次郎、工兵大佐堀田正一、步兵中佐古谷尙、步兵大尉鴨脚光弘氏等の委員たるは確實なりと云へり海軍側に於ては其の人選を擧げて講和委員長に一任し在りたるが今大體內定したりと云ふを仄聞するに主なるものは左近司政三中佐及び中島權吉中佐の兩名にして其の外に四名の隨員あり尙必要とする場合には此の外に三名を增加する豫定にして全員九名を內定し居れりと云ふ而して右委員は其の任務に從ひ國境測定委員は獨墺巴爾幹、洪牙利方面に、鐵道監督委員は羅馬尼、ユーゴー、スラブに行政監督委員は丁抹、波蘭、希臘等に赴くことゝなるべきも調印後直ちに任地に赴くべきや否やは未明なりと(東京)

七年度滿鐵事業(上)

總會に於ける川村理事演說要領

本年度(大正七年度)に投下した事業費即ち建設工事費は總計二千二百九十九萬四千圓餘にして前年度に比すれば約五百三十五萬を增加せり其の主なるものは鐵道の五百四十萬七千餘圓を第一とし之に次ぎ製鐵所の四百九十萬圓餘、鑛山の四百二十萬九千餘圓、港灣の二百五十七萬三千餘圓、工業の百八十二萬九千餘圓諸建物の百十一萬二千餘圓、地方營造物の百三萬二千圓餘にして其他電氣、瓦斯、工場、土地及び旅館にも需要の增加に應じ必要已むを得ざる程度に於て數萬乃至數十萬圓の事業費を投下せり只船舶建設費に於ては例年の通り船價償却を行ひたる爲め却つて十五萬六千圓餘の減少を來せり、鐵道の建設費に前述の如く五百四十萬七千圓餘の巨額を要したる所以のものは旅客及び貨物の激增に伴ない機關車十九輛、客車二十一輛貨車七百六十六輛を新造したることゝ安奉線の工事に伴ない線路の擴張、大型機關車の運轉に應ずるため枕木を增設したることゝ撫順炭礦等の擴張に伴ひ機關車庫等の新築及び增築等に因るものなり次に鞍山製鐵所は昨年定時總會にも報告ありたる如く其第一期計畫は總工費約四千萬圓を投下して、製鐵一箇年十五萬噸を出す豫定にして從來極力工事の進捗に努めたれども歐米各國に於ける鐵材其他の輸出禁止の爲め材料の蒐集極めて困難にして本年度內に於ては遂に銑鐵の製出を見ること能はず、四月廿九日に至り初めて第一熔鑛爐に火入を爲すことを得たり、第二熔鑛爐も今秋には火入を爲すことを得べき見込なり、前述四百九十萬圓餘の金額は此等の施設に要するものなり、第一熔鑛爐及其附屬設備の成績は良好にして每日百四十五噸の銑鐵を製出し居れり撫順炭礦に投下したる一般は主として石炭の需要激增に因り撫順の出炭能力を增加する爲め在來各坑の設備を擴張するの外新に新屯斜坑の開鑿を爲したる事等に要したるものなり港灣建設費の二百五十七萬三千圓餘は主として大連の埠頭及防波堤の築造擴張及び埋立港內外の浚渫、倉庫の新築等に要したるものにして多くは繼續事業の性質を有し完成には尙多くの歲月を要する見込なり工業建設費の百八十二萬九千圓餘は主として一昨年計畫に於て着手したる「九千キロワット」の瓦斯發電所の建設及び其副產物たる硫酸「アンモニア」製造工場の建設並びに必要なる硫酸製造工場の建設に要したるものにして、本年度中に遂に完成を見るに至らざりしが遠からず竣工を告ぐる豫定なり、諸建物建設費の百十一萬二千圓餘は事業の擴張從事員の增加等に因り事務所、社宅、倉庫等の新築を要し且つ先年火災に罹りたる奉天貸付け家屋の改築を爲したるが爲なり、地方營造物費の百三萬二千圓餘は附屬地の發展及び社會の進運に伴ひ學校及び病院を增築したることゝ中央試驗所及び農事試驗所等の設備を擴張したることに要したるものなり、政府出資財產一億圓の評價に就ては創業以來常に調查を怠らざりしが長時日を要し本年度に至り初めて完結を告ぐることを得たり

學校組合會議

原案通り可決

京城學校組合會議は三十日午後四時同會議場に開催金谷府尹議長席に著き開會を宣し左記の議案を討議したり

▲第一號議案 京城學校組合吏員以下臨時手當支給規程設定の件

▲第二號議案 大正八年度京城學校組合歲入出豫算六百五十一圓追加の件

▲第三號議案 大正八年度戶別割賦課に關し增減方申請に依り其增減の件

▲第四號議案 京城學校組合に於ける大正七年度豫算の執行に際し豫算超過の支出に對しては豫備費を支出し置きたるも今日に至り同一款內他項に剩餘を生ぜるものあるを以て同流用計算書の通流用の件

以上の議案に對し原案通り可決を見たるが其の追加並に流用豫算左の如し

▲追加豫算 組合職員臨時手當六十圓、傭人臨時手當五百九十一圓、合計六百五十一圓

▲歲出豫算流用分 小學校訓導赴任旅費八十三圓二十八錢、教育基本財產編入金に寄附金收入の蓄積を要するも既定豫算不足せしもの七百三十圓、過年度支出に屬する訓導給料其他の支拂に不足を生じたるもの三百二十六圓五十七錢、傭人臨時手當中不足せしもの五十二圓九錢

我汽船差押らる

水產講習所汽船運用丸は二十二日浦鹽に入港せしに同地港務部より多數の露國官吏出張し來り主なる機關部に水銀を塗り同船を差押へたるが其理由判明せず交涉中なり(東京特電)

海軍大演習擧行

十月十日より太平洋に於て

大戰勃發と共に中止せる海軍大演習は十月十日より二十七日頃迄に鹿兒島より東京灣に至る太平洋に於て擧行するに決したるが歐洲戰爭の訓練殊にオークランド、チツトランド海戰の經驗に鑑み策戰動作共に大規模に行ふ可き豫定にて演習終了後は恒例の大觀艦式東京灣にて擧行さる可しと(東京特電)

物產會社設立

資本金二百萬

京城南大門通一丁目金潤晃、同二丁目金得珠、同一丁目金潤秀、鍾路通三丁目金東般、同韓翼錫、鍾路通張斗鉉、茶屋町張春梓、長橋通韓……、江西阿峴里李應裕の九氏は資本金二百萬圓を以て東洋物產株式會社を設立すべく廿六日附設立許可の申請を爲したるが同社は

內外國物產

の輸移出入貿易及び委託販賣を營み其の委託貨品に對しては相當の貸付けを行ふを目的とするものにして發起人は何れも現に當府下に於ける有數の布木商なるが近時物價の騰貴に伴れ小資本を以てしては事業經營上困難を感ずるが故に茲に合同して株式組織の會社となさむとするものなるが玄米、大豆、大小麥、牛皮等は

全羅慶尚道

地方より仕入れ內地へ見送り又韓紙、油紙紙等は胡麻は黃海道より仕入れ滿洲及び支那方面へ和金巾、細布、綿絲、日本木綿等は大阪或は其他より仕入れて鮮內地に販賣し朝鮮木綿、毛布、安東布、明紬の類は產地より仕入れて鮮內不產地に販賣せんとするものにして先づ一千圓を創業費、四萬圓を以て事務所及び倉庫用地二百坪を買入れ四萬圓を以て營業用什器を購ひ其の殘餘の四十一萬圓を運轉資金に充てむとする計畫なりと

岡田秀氏入城

東京美術學校教授兼東京女子高等師範學校教授岡田秀氏は今回朝鮮總督府の依囑に應じ教科書編纂事務打合の爲三十日入城京城ホテルに投宿したるが七月三日頃迄滯在すべしと

人事消息

▲高野省三氏(三井物產京城支店長)大阪支店の棉花會議列席の爲め二日午前十時南大門驛發列車にて大阪に赴き更に東京に向ひ中旬頃歸城すべし

▲天野喜之助氏(三井物產店長代理)支那旅行の豫定なりしが都合上延期

▲川上常郎氏(東拓理事)二十九日夜入城

▲吉松憲郎氏(遞信第一部長)三十日夜退城

鳥瞰錄

淡白な點に於ては英人も米人に能く似た點がある▲德川慶久公が赤十字社の代表慰問使として歐洲に行つた時倫敦ではボナーロー君が主人公で盛な歡迎會が開かれた▲其時ボナーロー君は挨拶の演說に日英同盟を引き出し盛んに愛嬌をまいた▲まではよかつたがツイ日英同盟の年號を忘れた暫時考へて居た同君は遂に思ひ出されなかつたものと見ね大聲で側に居た人に聞いて而して更に平氣で滔々とやつてのけた▲之が日本人だつたら何うする大概の人が眞ッ赤な顏をして大分狼狽する處だらうが歐米人には其う云ふ事はない▲が日本人が全部其う云ふのだと云ふのではない之に能く似た話がある▲其の昔故伊藤公が統監時代に故桂公が入城した際恰度伊藤公が誕生の宴を官邸で催して桂公も列席した▲其際來賓を代表して桂公が祝詞を述べたツイ何回目の誕生だつたか忘れた▲桂公平氣なもので幾回目でしたかねーと御當人の伊藤公に聞いてそしてサッサと挨拶に及んだ▲桂公とボナーロー君此邊似通つた處がないでもない或は斯ふ云ふ事は大政治家の通有性かも判らぬテ(紫君の感心談)

株式特電

北浜 東京毛斯 二二八 三三 横濱取引 一八 …… 東株 第二立會 …… 同新 第二立會 ……

二二九 …… 式特電

京城 阪合

木戶共劇入棧敷 二圓 …… 壹圓四十錢 …◎… 割引料金 貳拾 …

進呈

特許商標の理論及出願要項を詳說せる特許の栞と題する冊子を呈す希望者郵券貳錢送れ 大阪市道修町御靈筋角 石特許事務所

人參湯開設

每朝八時から朝鮮名物の人參湯を開設致しました十八番の川魚料理御仕度致し殊に美味と衛生的とに充分御滿足を得らるゝやうに致し居ります板場は川魚專門の料理人を新に雇ひ入れました一度是非御試めしの程希上ます

京城本町五丁目 海川魚 御料理 御會席 仕出し 權平庵 電話貳貳參七番

京日案內

番外

電話讓物 本町二ノ五六 三三七 長八五五番へ 吉田屋

代診及看護婦入用 希望者は寫眞と履歷書送られ度 鎭南浦 直塚醫院

店員入用 年齡十六七歲以上二十三歲迄希望者は來談ありたし 京城本町二丁目一〇 電話一〇四五 宮林案次商店

◎ほねつぎ うちみくじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場

◎結球白菜種子 本場直接仕入 芝罘電信局街 川上洋行

土木建築 測量設計製圖 鑛山水利鐵道水力電氣開田等 京城大和町 京城工務所

▲新築移轉 倉庫完全 京城黃金町壹丁目一六一番地 質店 鈴木豐

電話に金剛並賣買 迅速極秘に御取扱可致候 櫻井町一丁目 電話第六三貳 增田政夫

藥局生及看護婦見習 至急入用但希望者は本人來談 高給を支給す 仁川 小倉病院

◇鮮語科 ◇英語科 新學期 三ヶ月修業 A B C D 補缺編入 太平町 京日社西向 京城青年會

女子事務員採用 內勤 八時開勤務給料貳拾圓以上 若草町一〇六 報國公債朝鮮支部 郵便ポスト前

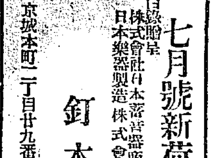
女事務員 熟誠着勉の人 內勤に入用 希望者履歷書携帶午後本人來談 市內黃金町二 京城新聞社內 朝鮮研究會

◎給仕貳名入用 年齡十四五歲以上二十歲以下 希望者は自筆履歷書携帶來談 京城本町 スタンダード會社

社員高給招聘 外務 希望者履歷書携帶來談 地方巡迴 京城黃金町貳丁目 日清生命 朝鮮支社

電話至急讓受たし 御報參上御相談可申候 京城光化門通 電話一四四七 坂本

女中入用 年齡十六七歲以上 家族小人數給料相當に支給す 市內竹添町二ノ一八四 野村

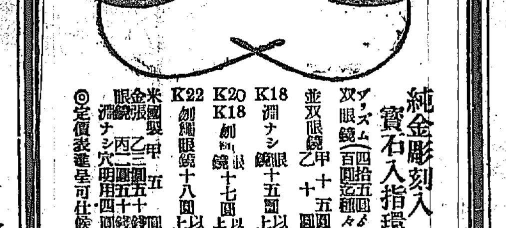


七月號新荷着 目錄贈呈 株式會社日本蓄音器商會 日本樂器製造株式會社 朝鮮總代理店 京城本町二丁目廿九番地 電話二八三番 振替京城六八四番 釘本樂器部

●巨富の一路 株界大幅の高低頻々として諸士の投資に絕好の機會を與ふ諸士徒らに捉ふるに何ぞ怯懦なるや徒らに他の致富を垂涎して轗軻不遇を嘆ぜんより決然本會に參加せらるゝに若かず、講和調印せられ戰後相場實現に當りて敢て諸士の奮起を促す

締切 大正八年七月十日 加入金 一口 百圓

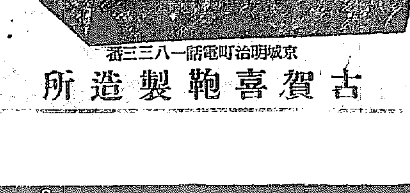
古川商店信託部 株式投資會 大阪市東區高麗橋貳丁目五拾番地 電話本局(長)五四一番 二七六〇番 三七〇三番 振替口座大阪八二四〇〇番 會則無料贈呈



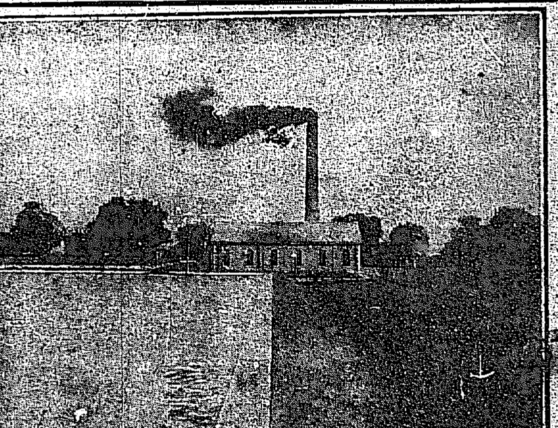
純金彫刻入寶石入指環品揃 プリズム(四拾五圓から)双眼鏡(百圓迄種々) 並双眼鏡 甲十五圓 乙十圓 K18 淵ナシ眼鏡十五圓以上 K20 K18 加縄鏡十七圓以上 K22 加縄眼鏡十八圓以上 米國製 金張眼鏡 淵ナシ穴明用 甲五圓 乙三圓五十錢 西二圓四十錢 ◎定價表進呈可仕候 金銀懷中時計 實用萬年ペン 品揃 品揃 京城本町一丁目 中村眼鏡店 振替京城一二四〇

時機は今 ◎各種荷揃ヒ致居候 ◎御進物用印入調製 扇子 繪葉書名刺臺紙發賣元 京城本町 日之出商行卸部 電話九五六 振替四〇二

優美 堅牢 廉價と數へ切れない特長を有す 古賀喜の鞄



京城明治町電話一八三三番 古賀喜鞄製造所



京城水道水源地（記事參照）

婦人見學團前記
愉快な漢江下り
蠶島の水源地を見て　滿江の涼風に吹かれ乍ら河下へ鷺梁津へ

婦人見學團の第三回は愈々來る六日(日曜)に擧行する事になりまして蠶島から鷺梁津まで流れに沿うて漢江を下り京城仁川兩水道の水源地を見學致します新緑滴る漢江の右岸蠶島の西端には京城三十萬の府民の一日もなくてならぬ京城水道の水源地がありまして水道の水に

慣れた人達 は水道の有難さを知りませぬが仁川の水道が出來ない明治四十一二年ごろと水道が出來た四十三四年ごろを比較するとコレラ、赤痢、腸窒扶斯などの傳染病死亡率が約二分の一近く減少してゐます更に水質試驗の表を見ますと井戸水や河水には無數の細菌や不純物がありまして僅か一滴の水にも

五百の細菌 があります濾過された水道には殆どなく僅に無害菌が五六ぐらゐしか居ません是は毎年の試驗で明白に示されてゐます斯うして河水から清淨な水になる迄の色々な仕組を見れば水道の有難味も分り水を節約せずに居られなくなる筈です蠶島の西端漢江の中流に三個の水取口がありまして其處から二千二呎餘の

太い鐵管で 藥品混合池、沈澱池、濾過池を通つて淨水池に入り此處から喞筒で漢芝面大峴山の配水池に送られます丁度鍾路通より二百十六尺以上の高い所にあるので此處から京城へ鐵管で流れて來まして皆樣の勝手元の給水栓に出るのです淨水が沈澱濾過される細い器械の

種々な働き を見學するのは非常に興味のある事でもあり又有益な事であります、此水道は明治三十九年八月一日英國人のコーリアン、ウオター、ウオークス會社が起工しまして四十一年八月竣工と同時に給水を初めましたが明治四十四年四月政府が之を買收して官營となり現在のやうに京畿道廳の水道係が保管經營する事になりました水道を

設計する時 には今日程の人數がなかつたので一日四十八萬立方尺(約七萬石弱)の給水能力で十二萬の人が使ふ丈でしたが現在は三十萬の人口があるのですから非常な不足で盛夏には制限給水をやらない譯に行かなくなるのです然し未だ使用者が水を節約すれば水道擴張工事が出來上がる迄は辛抱が出來ない譯ではありません

砂白き蠶島 の磧には…綠の楊柳の樹蔭の往來船の赤黒い帆がゆるく音もなく滑るやうに流れて行く景色、何とも云へません模糊たる四周の山々を眺めながら樹蔭に憩へば江を渡る涼風は暑熱を吹き拂つて宛ら仙境に遊ぶ心地が致します、京城水道を見學した婦人團は其處から汽艇に引かれた屋根船に分乘して河身を西へ／＼と流下する

滿江の涼風 に夏を忘れながら沿岸の風光を指呼しながら江を下るのですから是程愉快な事はありません、唐の白居易先生が千里の長江一日にして歸ると云つた詩の一句も憶ひ出されます鷺梁津上陸後は更に仁川水道水源地を見學するのですが夫は又改めて記す事と致しましやう。

我國最初の理學士
逝ける渡邊博士
探鑛冶金學の泰斗

夕刊所報の如く二十九日逝去せる工科大學々長渡邊博士の事につき東京工學士は語る『渡邊博士は我國最初の理學士である其頃は現在の此の門女學館のある所に農商務省の工部大學があつたが一方理科大學でも工科の科目を教授して居た博士は我國に於て探鑛冶金學を修めた

第一人者 で海外留學後に御料局の支廳長として佐渡の金山へ赴任されたが後年大學敎授として教育方面に盡された功績と共に探鑛の技術方面の新開拓者として範を一般鑛山界に示されたことは特筆すべきで殊に故品川彌二郎子の知遇を得大學敎授の傍ら農商務省の

鑛山局長 になつたのも前例のないことである』更に氏は語る『博士の學界に貢獻されし功績は擧げて數ふるに遑なき程であるが就中鑛床學は今日の所迄は全く博士の賚で蒐集された標本の夥しく且珍奇なることは我大學の誇りで外國の理學者も等しく稱賛する所である』

大いに祝へ
祝賀日來る
萬歲から世界改造へ

寒甘誰の一擧手が發した導火線の彈丸は端なくも世界大動亂の導火線となつて、前後六年、戰塵漠々として、空を掩ひ幾百萬の生靈と幾百億圓の財寶は徒らに消耗された、夫も今は恐く過去の夢と化し、獨逸は調印に依つて光榮ある『勝利の平和』は來た、今日は其祝福の日である、然り、國を擧げて歡喜抃舞すべき祝福の日である、思ふに全世界の國民が新なる期待と新なる勇氣とを以て改造の世界に突進すべき第一歩は一齊に起る平和の祝福の萬歲唱和より踏み出さねばならぬ、請ふ共に帝國萬歲を三唱せん。

物淋しき獨領事館
庭園居室等も荒るゝに任せ　主を待つ洋琴は蓋に蔽れつ

講和調印の報を齎して京城平洞二十六番地の舊獨逸總領事館を訪ふ世は平和の風吹き渡るに此處のみは五年前に主人を送り出せる儘森閑として居る獨逸帝國總領事ドクトル、クリーゲルの表札もいたく古びて其の儘に掲げられ尉し

門番の居室 たりし街路に面せる樓上の窓ガラスは破れ果て蜘蛛の網張るに任せ板塀は毀れ果て、門を入らざるに先づ荒涼の氣人に迫る門を入り並木の小徑を辿りて玄關に音なへば留守居の鮮人通譯李鍾善氏は出で迎へ舊總領事の事務室に記者を招じて徐に口を開く『總領事のクリーゲル氏は日獨戰爭になると書記官のベル氏セル氏と直ちに歸國しました總領事の奥さんや子供さんは其より

半年も以前 に既に歸國して居ましたモウ五年になりますかね早いものですね、領事もこんなに戰爭が永く續くとは思はなかつたと見え私には只よく留守をして呉れと云つたぎり別れましたが無事歸着の通知と他に一度許り手紙が來たでせう其後對敵郵便規則が發布になつてからは

更に手紙も 屆きません書記官のベルさんは戰爭で負傷したさうです講和の調印が濟んだ事は新聞で承知しました今の所私の外に小使二名の月給は月々東京の瑞西公使館を經て送金して來ます』獨逸の財産管理…[illegible]

十八日附朝鮮總督府官報を手にして李鍾善氏は又語り續ける『總領事さんの所持品は隨分澤山殘されて居ます彼方にある朝鮮簞笥やトランクや鞄は全部總領事さんの所持品です』指す方を見れば大小の朝鮮簞笥約二三十個も積重ねてある『何れ

私は保管者 として官憲の調査資料に就きて供述をする必要もありませうそれで私の所持品は一見して解る樣に此の通り別にして居ます』と大机の上に李鍾善氏の所持品と云ふのが整然として並べてある更に應接室の中央の壁間には軍服を着けて昂然たるウイルヘルム二世の金縁

大肖像畫を 掲げ其左にフレデリツク大王右にウイルヘルム一世の肖像畫が掲げてある其向ふには軍艦カイゼルウイルヘルム二世號の壁畫がある總て是れ何れも獨逸の盛時を語る種である心なしかビスマークの肖像が感慨無量の面持ちにてカイゼルを睨して居るかの如く見ゆる主なきピアノは幾年の間か開けらるゝこともなくカバーで蔽はれて居る

歡溢るゝ佛領事館
クレマンソー氏へ祝電
在留佛國人は一日の夜倶樂部で祝賀會を開く

祝福の日が來た、獨逸屈從の歡定日に於て最も巨額の賠償を受くべき佛國の熱烈な歡喜は府内蛤洞の高臺に聳ゆる佛國領事館にも溢れて居る、主人公

ガロアー氏 は語つて日く『ア、獨逸は遂に調印しましたか？私は一寸旅行して居たので其の新聞を未だ見ては居なかつたのです、當領事館には未だ正式の通知は無いのですが何れ今明日中には電報が來ることゝ存じます、丁度休戰になつた時も東京の大使館から朝鮮に在る領事と佛國人全般に對し休戰になつたから

政府と共に 目出度く祝ひ喜んで呉れと言ふ意味の電報が、忘れもしません去年の十一月の十四日に着いたのです、是れに對し當方からは早速佛國大統領、各大臣、元帥、陸海軍の各大將士官水兵に宛て朝鮮に於ける同國人から喜んで御祝ひ申上げる佛蘭西が勝つと言ふことは一同

堅く信じて 居た所だと言ふ意味の返電を發したので今度の講和成立の電報に對しては少くともクレマンソー氏の名を擧げて返電したいと思つて居ます彼の人は非常に佛蘭西の爲めに働いた人ですから……』と喜色滿面に浮かび『唯今私等の倶樂部員から案内狀がありましたが一日の夜

午後七時頃 から我々の倶樂部に集まり大に祝賀しようと云ふ計畫もあります是れから暫らくは御蔭で忙しいことだらうと思はれます…』

平壤の觀兵式
内鮮人擧て祝意を表す

平壤に於ける平和克復表祝は市民も人氣引立ち内鮮人共各戸國旗を揭揚し二日午後三時より歌舞伎座に開催せらるゝ表祝會出席者は既に八百餘名の申込みあり步兵第七十七聯隊は一日午前八時半より觀兵式を擧行すべく在鄕軍人各學校生徒に陪觀を許すべし（平壤特電）

旗行列擧行
元山の祝賀

一日午前九時より元山神社に報告祭を執行し同十時より小學校校庭にて一般祝賀會開催す可く守備隊にては同十時より營庭に祝賀會を開催し小學校生徒は夕刻より旗行列を催す由（元山特電）

ハヽン傳書蝶か
黄金町をヒラ／＼

卅日黄金町二丁目附近を紙片をブラ下げた白蝶がヒラ／＼と飛んで居たのを或警官が認め捕へて其紙片を見ると『巴里特電として講和會議に於て獨逸は愈々調印せり獨立運動見込なし此上は民心安んじて正業に就くべし』と諺文で書いてあつたのでハヽン傳書蝶かい

陸軍飛行機墜落す
岡田中尉慘死

三十日午前九時半岡田五郎中尉は百九號機にて熊谷より所澤に歸還の途中川越鐵道線路附近に於て機に故障を生じ墜落すると共に發火し中尉は慘死せり（東京特電）

全勝力士逆鉾（下）は其逆鉾が本社の懸賞銀盃を受けて居る處

今年の文展
十月十四日より開會

六月二十七日文部省告示を以て第十三回美術展覽會は本年十月十四日より十一月二十日迄上野竹の臺陳列館に於て開會する事出品願書及び受理期間は十月一日より十月五日迄（但し鑑査を要せざる出品は十月九日迄）とし閉會後十一月二十七日より十二月十一日迄第一部（日本畫）第二部（西洋畫）の出品は京都市主催の文部省美術展覽會出品京都部陳列會に出陳するものとす但し出品物運搬費は京都市之を負擔し且亡失其他の損害賠償の責に任ずる旨發表せられたり

岡田氏講演
聽講歡迎

東京高等女子師範學校敎授岡田秀氏は今回總督府囑託として入城京城ホテル滯在中なるが朝鮮敎育研究會の主催にて二日午後四時より南山町京城高等女學校にて『家庭の性質と音響の價値』と題する講演を爲し一般の聽講を歡迎する由

本社 銀盃は逆鉾へ
呆氣ない栃木と大阪大錦の取組
千秋樂の合併相撲

中入後は觀客を熱狂せしめるほどの取組もなく、至極平凡であつた。殊に栃木が大阪大錦の爲に呆氣なく敗れたりして決戰は頗る振はなかつた。唯一に大錦對馬洋の對戰に幾分人氣が見えた、御西山が例に依つて猛襲又猛襲で朝日嶽を屠つたのが痛快であつた。本社懸賞の銀盃は五日間全勝の榮を擔つた逆鉾に贈呈された。

重なる勝負

五日目の重なる勝負左の如し

勝	負	勝	負
若友	常綠	阿里山	綾友
常の里	綾綠	常陸島	朝尾津
岩見嶽	男島	山の音	松の矢
東川	芦田川	大江嶽	綾若
五葉山	岩の松	日出石	二瀨龍
光風	陸錦	若常陸	伊吹山
江戸崎	貫	朝千鳥	南龍

中入後

西の森（掬ひ投げ）釋迦ヶ嶽
逆鉾（吊り出し）宇都宮
源氏山（吊り出し）鳥海
御西山（寄り切り）朝日嶽
一湊（吊り出し）海山
大門岩（下手投げ）福柳
綾川（吊り出し）稻の花
大泉（櫓投げ）違の矢
常の花（寄り切り）朝日山
大錦（寄り倒し）對馬洋
大錦（下手投げ）栃木山

本社好み相撲

決勝五人拔　優勝 若常陸

右の内▲西の森に釋迦ヶ嶽は西の右差しを釋迦咽喉輪に攻めても利かず右四つ寄合ふ中釋迦の出る所を掬ひ投げにて西の勝▲逆鉾宇都宮は咽喉輪攻めに行きしも利かず右四つ宇都宮寄らんとするを懸命に吊り出して逆の勝▲源氏山に鳥海は突合ひ鳥筈にて押さんとするを源氏叩き込みしも利かず左四つ源氏再三出し投げ打ち鳥土俵際にて怺へるを吊り出して源氏の勝▲御西山に朝日嶽は右四つ朝日の寄らんとするを御西再三再四小手投げを打ち朝の殘すを御西寄ると見せ土俵際にて寄切つて御西の勝は大喝采▲一湊に海山は海突張るを一防ぎ右四つとなり投げを打合ふ中海吊り身に寄らんとするを吊返して一湊の勝

▲**大門岩に福柳** は双方の躍援あり立つや大門双差しとなり寄るを福小手投にて防ぎ右四つとなり寄合ひ更に投げを打合ふ中福の上手投げ打つを下手投打返して大門の勝は大喝采▲綾川に稻の花は稻の左差し右筈にて寄らんとするを綾極め乍ら寄り更に左四つ稻の下手投げ打つを吊り出して綾の勝は立派▲大泉に違の矢は右四つ互に烈しく投げを打合ひ違一氣に寄らんとするを吊氣味の櫓にて大の勝

▲**常の花に朝日山** は當日第一の取組なり立つや突合ひ右四つとなり常小手投げ打つを朝防ぎ右に寄合ひ又は投げを打合ふ中朝下手投げ打つを常上手投げ打返し殘るを寄り切つて常の勝は大喝采▲**大錦に對馬洋** も亦好取組なり立つや左四つ對馬吊り身に寄らんとするを錦吊り返し土俵際迄進むを對馬外掛にて防ぎ土俵に吊り合ふ中錦烈しく土俵際まで吊り進み殘るを寄り倒して錦の勝は大相撲なりき▲**大錦(大阪)に栃木山** は左四つ栃木再度下手投げ打ちしも利かず錦上手投げ打つを栃木防ぎ乍ら寄らんとするを下手投げにて錦の勝

相撲無駄話

四日目に呼出しの淸作と玉公が喧嘩をやつて玉公の眼に繃帶が…淸作の股には玉公の齒形が附いたので土俵の床締が双方を呼び付けて裁判をした末に『淸作俺達が東京に來た時分には長吉が恰度十歳だつたがそれでも兄弟子だからお給仕もすれや床も取つてやつたものだ、此道だけは[illegible]しかつたが此節は世の中が亂れたか[illegible]で通らねらな……』取締の頭には嚴しかつた昔の相撲道が蘇へつて居るらしい

大相撲 仁川興行

仁川初日取組
人氣頗る旺盛

合併相撲の仁川初日興行は既報の如く七月一日と確定一行は京城打揚げ後直ちに下仁の筈なるが初日は恰も平和克復祝賀日にて仁川市民は一大祝賀會を開催すると共に各銀行會社等は何れも休業する事となり殊に仁川米豆取引所も祝意を表し休場と決定せるを以て人氣益々沸騰せり初日の取組左の如し（仁川）

（光風・南龍）（高の山・瀧の海）（若常陸・朝千鳥）
（西の森・五十嵐）（逆鉾・釋迦嶽）（違の矢・朝日嶽）
（宮城山・鳥海）（綾川・海山）（一湊・稻の花）
（御西山・大泉）（宇都宮・朝日山）（常の花・福柳）
（對馬洋・源氏山）（大門岩・大錦）（栃木山・大錦）

傳染病患者

京城高等女學校生徒龍山元町一の[illegible]六大和つよ(一四)は三十日朝腸チブスと診定され直ちに順化病院に收容されたり又龍山漢江通十五番地鐵道舍宅十の四號橫枕要及び同つね兩人は眞正赤痢と確定し隔離さる

○菓子商記念祝宴　平壤菓子商組合にては七月一日正午牡丹臺浮碧樓に於て同組合創立一週年記念及び講和締結の祝賀を兼ね祝宴を催すべしと（平壤）

○雨谷郵便所長　廿有六年間通信事務に搾り精勤の聲高かりし黄金町二丁目郵便所長從七位勳八等雨谷明作氏は廿九日逝去せり葬儀は一日若草町西本願寺にて施行の由

運動界
南浦軍對平壤軍野球戰

平壤實業青年會は廿九日選手及び應援團八十餘名と共に遠征し午後一時より同地實業青年會と華々しき野球戰を行ひたり五回迄は南浦軍優勢にて平壤軍振はず士氣沮喪の感ありしが六回目より平壤軍最後迄勇奮し連戰連捷の好成績を示したるも最初の痛手は遂に恢復するを得ず二十一對五の成績を以て平壤軍の敗北となりたり午後五時競技終了し南浦青年會の主催に係る宴に臨みたり（平壤特電）

演藝

▲壽座　喋鳥の文福一行一日の變り外題左の如し
△久公サーベル三場△若女房一場△孝の德三場△喜劇手一場

あざ ホヤケ　くろ、たむし、わきが、できもの、きりきず、やけど、ひきつり等の
皮膚病專門　なます、そばかす、入墨
當院長川村恒夫來る　六日より十一日迄五日間京城本町二丁目清光館出張每日朝八時より三時迄診療
大阪市西區新町通二丁目　川村病院　電長新町六七六

大日本ゴム株式會社製　自轉車用タイヤ　品質保證　一組特價九圓五十錢　小包料二十四錢　京城大平通振替京城三〇〇番　京城日報代理部

最上清酢　三矢酢造場　京城本町四丁目　電話七〇五番

植山本家

角形石鹼元祖　浦本工場　京城　電話二一〇　振替二三九四番

胃腸病の根本的解決
タラコンの眞價
科學的に證明せらる
從來不治の難病として如何なる名醫も匙を投じた胃癌、胃潰瘍、胃擴張の如き重患を始め、あらゆる胃腸の疾患に對してタラコンの靈驗卓効あることは、既に幾千萬の重症者を救ひ得たる事實に依て證明せられて居ますが更に此度化學的試驗に依て保證せられました、即ち東京帝國大學近藤藥學博士及同大學病院藥局調劑部長松田秀松氏がタラに就て研究せられた結果に依れば、少くとも古來胃癌の特効藥として實用せられたコンツランゴ皮と同樣の効果あることは明かで、之れ以上更に幾何の貴重なる有効成分を含有するかは目下研究中でありますが、既に知り得られただけの成分でも之を運用すれば慢性の胃腸病を根治し、食慾を進め、消化を助け、腸を整へ舒暢することは確實であります、只併しタラ一味を服用する時は胃腸病者に於ては惡心嘔吐を催し、甚だしき苦悶を起しますが、弊園は洋法漢法の醫に計り多年の間研鑽を重ね實驗を積み如上の副作用を除きしのみならず和漢の妙藥を加味して調劑の妙を盡し、病症に應じて方劑を選み如何なる難病苦病にも用ゐて効なきはなく實驗上にも將た又科學的にも其靈験卓効を保證せらるゝに至つたのは弊園の深く光榮とする處であります
▲藥價 一個十二錢 散藥、煎藥、各五十錢・一圓廿錢・二圓五十錢・五圓 海外四十五錢
▲送料
本舖　東京市小石川區下富坂町廿番地　無量壽藥園（電話小石川二九五六番 振替東京二〇〇二一番）

何なんでも古物品で今東西に渉り賣手ご買手の●
滿足する價格にて賣却し又買入れる
販賣委託　委託附買
ユニバーサル、トカマサ、カウト
賣りたし買ひたし月報
毎月廿日發行　家具、衣類、装飾具、骨董、書畫、寄寓物、其他何品によらず賣りたし買ひたしの御用は月報を是非御利用下さい
合資會社　東京京橋區南紺屋町七番地　電話京橋四八六九八・二二五一番

安住かとり線香

登録商標　猪印
一寸四五本試してごらん　落ちるわ／＼雨の降るよう　ポトリ／＼と一匹殘らず　後の涼しさ快さ
到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す
大阪北區曾田町　安住大藥房

[illegible]

みだれ咲き

第七十四回　島山碧波作　森田久壽畫

小間使のお春が立會で探した自動車置場の天井裏から、紛失したと云ふ金品が出て來ると、『やッ、失策た！』と、絶叫した牧野は早くも斯うした結果を豫期した裏面の消息を看破し。

『コ……此阿魔ッ』

怒り心頭に發した彼れは、物をも云はずにお春の髪を掴んだ。さうして右の拳を堅めて憎むべきお春に制裁を加へようとする

『こら何をするッ』

流石は職業柄である、木暮刑事は素く牧野に飛び掛つて、有無を云はさずに繩を打つてしまつた。

『木暮さん、是れには深い仔細があるんです』

と、牧野が自分の想像を語らうとすると。

『矢ッ張りお前が見た通りだつたなア』

松川は殊更に驚いた顔をして、お春と肯き合つた。

『牧野さん、惡いことは出來ませんよ、貴郎が御前のお座敷から此の包を持つて出て來た時、私がお嬢樣のお部屋でソッと見て居たのを知らなかつたでせう』

お春は最う凱歌を揚げたやうな態度で冷やかに云つた。

『お春、お前達は恐ろしい眞似をして自分達の邪魔になる者を陥れるな、然し乍ら如何なる場合ひでも邪が正に打ち勝つた例が無いぞ、お前達が夫れ程にして惡いことを企て、居ても御前樣さへ東京へお歸りになれば根底から破壞して見せるから其の時になつて吠面をするなよ』

と云つて、執事の松川に向ひ。

『松川さん、お嬢樣がお邸を脱け出した其の理由は誰れよりもお前さんが知て居る筈だ、執事を勤めて居る身で奥さんにお氣に入つて居るのを笠に被て大それた眞似をしたのは誰れだッ』

『馬鹿ッ、己の悪事が露現したので木に據つて魚を求めるやうなことを云ふな』

『は、、不幸にして牧野賢は汝如き奴の企た手に乘つて一時は賊の汚名を被るかも知れんが、此の金品を誰れが持つて來て天井裏へ隠したかは、指紋を取つて貰へば直に判明するんだぞ、夫れは奥座敷で出富さんと二人でした面白い談話も根底より破壞してやるから、其の心算りで居なさい』

少しも物に驚かずに滔々と語る牧野には、どうやら深き決心があるやうであつた、と同時に山中子爵の留守中に生じた多くの秘密を知つて居るやうであつたけれども松川は夫を一笑に附し去り。

『木暮さん、自分の犯罪が現はれる爲め、斯んな根も無いことを云つて我々に迷惑を掛けやうとする心事は眞に憎むべきではありませんか』

『本當ですな』

木暮刑事は松川の言葉に調子を合せて居るが、牧野の口にした指紋と云ふ一語は胸底深く疊んで居た。

『辯解をするなら本署に來てからにしろ』

『おい此の男の云ふ通りだと子爵の令兄は恐るべき罪人だが、夫れは信じられぬとしても、指紋と云ふ至極尤ものやうに思はれるから一應取つて見たらどうだね』

部下の木暮刑事に命じて保險自動車部は、牧野の云ふが如く自動車の置場に小間使の指紋でも殘つて居るやうなら、疾風迅雷的に取調をしようと思ひ、夫れ〳〵準備をして再び山中家へ出張した木暮刑事の歸署を待つた。

調節策

土地會社を設けよ　一壺三猶生

住宅問題に就き具體的に計數を列序する事も無論困難ではないが先づ腕要丈けを披瀝し置けば有識者は淺見の有る處を直に肯せらる〻であらうと思ふ最近貸下げ又は拂下げんとする龍山練兵場の不用地を基礎として特殊の土地會社を組織し表通りは奥行十間乃至十五間として市街の美觀を添ゆるに足るの商店向き貸家建築とし裏通り第一路は內地人向き住宅建築とし最後の三十間は鮮人向き混突式建築として專ら安價に貸與する事として貸家營業を開始せば之に收容し得る人戶は應分の多數となる可く優に京龍間に於ける目下の住宅

不足を調節し得ると同時に兵器支廠入口前面を拂ひ下げ（兵器支廠入口前通り空地の通路を除き）同一列に商店造りに構成せば京龍間は一路坦々たる大道直ちに密接し從來よりの問題たる京龍合一も即時に實現し目下の內鮮人共に不足を感ずる住宅を補充し得て一擧三德の便を得るは火を見るより明かなり而して目下の建築費の增大も此の

事業の利廻りをして不足ならしむる如き事なしと信ずるも萬一採算上（否或方面に對する救助的意味を含む爲め）不利益なる場合には其筋に於て會社に一定期間補給を爲さば本計畫は一層實質味を帶ぶに至らん

鍼灸　本町三丁目　更科隣入　藤井百太郎　對入院隨意　濟生堂　專門　胃腸病。子宮病。腦病。脚氣。神經痛。小兒胃腸病。同疳病。比斯的里。慢性腹膜炎

時事一句

都人士のまなざし淒き陽に　飛骨
人車休みを酌ふ人數や時鳥　同
苦樹ねて仰ぐ夜空や時鳥　同
蝙蝠や塔に恐れる二日月　同
星が瞬く東寺の塔や蚊喰鳥　同
馬を洗へる裸の人や蚊喰鳥　同
翡翠の碟に發つや芦の風　同
翡翠や流るゝともなき水の色　同
物の芽の伸び遅れたる餘寒哉　同
青き踏みて高き詩を吟ひけり　同
二階明けて見下す街や朧月　同
春曉の軒に覺め居る燕鳩　同
三日月の出て下せる幟哉　同
禿山に夕日春く青田かな　同
夙く起きて若葉の門を掃きに　同
東解けて浴槽に浮ぶ菖蒲かな　同

日報柳壇

劍花坊選

蚊　富三

運の無い蚊は吸はうちた、かゝるでせう

▲評　理窟もかう云へば川柳だ、詩だ、同情があり、生命があり、人間を敵さ、共間にたつた紙一枚の隔てがあるばかり、さいふ理に近づいてゐる、人事にもかうした道恨はある、古今幾個の人をそれが爲めに泣かせたことだらう。

幽靈の話しで[illegible]が怖くなり　鐸庵

▲評　これを事實に結び付けようとしたり、一場の妖怪談を詠んだものゝさしたり、一篇の鏡花張の小說だと解して見たりしてはいけない。この句はこの句だけに於て其生命を認めなければならない。

讀者の願ひ

▲讀者の願ひ　內にて先月中乳兒の夜泣の嬉い手當方を御教示下さいまし、多くの御方から投書御親切に御教示下さいまして誠に有難く存じます　大變で御親切に御說明下さいまして早速試みましたが、其夜から泣かぬ樣になりましたが其後何んな變化でもありはしまいかと暫く試して見ましたが別に何の異狀はありませぬ　遠く御同情を寄せて下さいました方々に自由ながら本欄を拜借して御禮申上げます　併せて泣兒の爲に惱まされて居られる御人に御知らせ申します（泣兒の母）▲今般龍山工兵隊にて懸賞を敬まはれ文武兼備の良將校にして殊に大正七年秋初めて師團長に召されたる君は忘るべからざる温情の篤けりし故に今回名譽の戰死を遂げられたる吾人同氏の撫育を受けたる者は生前氏の惠に報いる爲め香花手向けたる氏の靈を慰め奉らんとす敢て同志に告ぐ（龍山下士ケ生）

日報俳壇

雷郎吟社詠草（京城）

去雁の雨意啼く島や夜空かな　孤舟
白鷗や水無き河の砂光る　同
[illegible]せし肥塚の上や鳥交る　同
春雨に暮れ戶閉す草庵　同
斗酒醉せぬ入鯛網や花の山　同
枝移りす雀に花の散る日かな　同
黄と白の蝶重たき韮かな　同
花に煙を纏らせ炊く小家かな　峰村
一つ行き殺く小魚や水溫む　同
丘あれば水ある佛の古邑かな　同
湖に鷗の漂ふや木の芽風　同
若草に續く海丸う揺る居る　同
無住寺の雛蹴らや猫の戀　同

牛乳　御用　岡野牧場　京城東四軒町　電話一六〇九番

◇氷菓の拵へ方

冷し氷は成可く細かく碎く
材料は二重鍋で煮るが好い

◆アイスクリームは珍しくなくなつたけれども、家庭に何時でも拵へられる樣に用意してあつて欲しいものである、汗だく〳〵の來客の前にお手前のアイスクリームを出して御覽なさい、奥樣の御器量も一層上る

◆其製法は氷と鹽を混ぜて入れた桶の中へ、アイスクリームの材料を入れた罐を挿込み、グル〳〵廻轉させることは誰でも知つてる話だが、上手に拵へようとするには次のやうな注意が必要である

◆桶に入れる氷はなるべく小さく碎き、氷三に鹽一の割合で混ぜる事、次に材料は罐に入れる前に充分冷して置く事、さうして出來上る迄は桶の中に溜つた鹽水を瀉さぬこと之れは鹽水のある方が早く出來るからである

◆さて出來上つたのは十分凍つたよりも一通り凍つた頃を見計らつて、手早く型に詰める方がムラがなくて好い、それから生の果物を混ぜるには其果物を充分潰して置いて、アイスクリームの稍凍りかゝつた時分に混ぜなくてはならぬ

◆さて最後の注意として材料は罐の三分の二まで以上は盛つては不可ない、これは凍るに從つて容積が殖ゑるから若し一杯にして置くと溢れ出る

◆普通の材料は生鷄卵に牛乳と砂糖を混ぜて煮たものであるが、此煮方は最初二重鍋で煮たため程度の湯加減にし、少しばかり濃くなつた頃に下すときめが細かになる

◆斯うしたものにコーンフラワー、ニースターチを加へて煮ると一層滑らかになつて、舌觸りも頗るよいと云つて餘り加へ過ぎると下品になるから程度を見なければならない

◆尚は若し果物や其他の酸類と混ぜる時には必ず陶器製の鍋で煮なければ酸と金屬が化合して中毒する事があるから注意すべし

大峯寶丹散　京城　朝鮮製藥合資會社　金十五錢　金四十錢　金三十錢　金五十錢

大阪財界便り

[illegible]に絶り多大の缺損を蒙れる[illegible]船舶[illegible]汽船會社は二千五百萬圓の利益を[illegible]は十六萬噸の利益を悉く[illegible]郵船、商船、川崎造船所は[illegible]

平和事業にして[illegible]よるものにして[illegible]

『子寶』ないのは 子宮病から

今が一番大切な時

恐るべきは子宮病で、第一に命を縮め、第二には子供が出來ず、第三には容姿を醜くし升。子宮病には急性は稀で、多くは慢性であり升――皆樣も思ひ當るでせう

●月經の不順な人
●逆上頭痛のする人
●肩凝り眩暈する人
●足腰下腹痛ある人
●手足が冷ゆる人
●おりものがある人

斯樣のお方は乾燥神經過敏で、血色の惡い、青白い顔をして居られ升又頰などの赤くなる方は俗に云ふこしけが多いので、何れも子宮病や血の道に罹つて居られる證據であり升、是が永く續くと、段々衰弱し身體は疲る、貧血はする呼吸は苦しくなる、動悸は亢まる、其の他食物は進まず、便通は惡く氣分は鬱ぎ

駄々子の樣に短氣で、不性で氣六箇敷なり、一寸した事が氣にかゝり、譯もなく過ぎ去つた事や、碇々その取越苦勞をして泣たり、悲しんだり、而して物事に倦み易く、疲れ易く、嫌になり、手足が痺れ、惡寒がしたり、發熱する下腹が重苦しく、痛み、小便には度々行くたくなり、局部の周圍が痛痒き、不潔でいやな臭混じ始めは卵の白味の樣な粘りあるおりもので有がこ其色が黄色又は青色となり、又は出血する事が有升、斯うなると病勢は餘程進んでゐるのですから一生涯不妊症となり、つらい、淋しい月日を送る許りか、取り返しの附かぬ重症を惹起して、生命迄も失ふ事になり升から、此時季が一番大切で、又最も危險な時であり升

●婦人病の大敵は、生死の境目ですが殊に草木の茂げる、初夏から梅雨期でござい升、何ぜかといふに、此時期は、人間の身體の諸機能に一大變調を來たす時で、且つ氣候の激變する時であり升から、持病のある人は勿論の事、平素健康な人でも、兎角色々の病魔に犯され易いのでございます、況して子宮には冷る事が一番惡いこととしてあるのに、寒い中に何人も相當に冷込んで居るのですから、其酬ひが此時候の變目に、而して、よしや子宮に大なる異狀を起さぬ迄も、月經が不順となつて逆上や、頭痛がしたり、氣分が何となくサク〳〵する樣になるのです、是は皆樣が毎年毎年御經驗のある事と存じ升、又姙娠中や産後の御方などは、或は流産、或は難產の不幸を招き、或は産褥熱に罹り易いもので御座い升、何れにしても、此頃は四百四病の發生期といふ位であり升から、片時も油斷せずに、く適應の攝生をせなければなりません、以下其攝生法を詳しく述べませう。

●子寶のない理由　一體婦人病の中で、子宮病ほど罹り易い病氣は有りませんそして大抵は緩慢に來るもので、急速に惡くならぬから、始めには自分でも氣が附かず、時候の加減か此頃少し月經が不順の樣だ位に思つて、自然手遲れ勝になり升又一旦本病に罹ると如何に輕症のものでも全く根治しない間はドウしても子供が出來ません、世間には子種がないのだとか子寶は天の授かりものだとか諦めて、其事を究めずして何等の手當もせぬ方が澤山あるのは誠に歎かはしい次第であり升、然らば何うするのが一番よいのかと申せば、それには婦人の衞生に關する智識を求めて、之を實行するのが何よりの急務であり升、現代婦人科の大家北畑、佐藤、西巻三醫學士及增田博士に依つて詳述せられたる

●婦人病者の心得　と題する冊子に、女一代の婦人病を細大洩らさず記述してありますから、子寶なき夫婦、子宮病に惱む方々は、一日も早く本冊子を御讀みなされたし、東京[illegible]町篠崎書三宛ハガキにて申込まる方には、本冊子を無代進呈いたし升、又は此新聞全紙へ五厘切手貼用にて[illegible]

實驗例（百〇七）　高知市堺町　山本卿[illegible]

プラトンインキ

万年筆用　筆記用　簿記用　證券用

大切な記録に安心して使用へる最新式の耐久インキ

用紙やペンを腐蝕せず永久に褪色せざるはプラトンインキの特長也

京城日報代理部其他にて販賣しつゝあり

プラトンインキ　プラトン万年筆　プラトン鉛筆

一手發賣元　中山太陽堂文具部

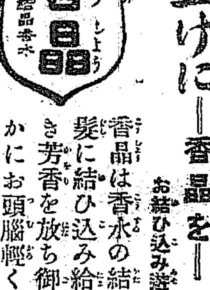
[illegible]エキス

東洋藥房　京城若草町（新道路）

賓化病院　京城[illegible]一丁目　電話二四番　內科　小兒科　入院隨意　每日五名を限り施療す　醫學博士　古城憲治　金澤醫學士　打田義芳

お髪上げに―香晶を―

お結び込み遊ばせ!!



香晶　結晶香水　登錄商標

定價金貳拾錢

香晶は香水の結晶にしてお髪に結び込み給はゞ清凉しき芳香を放ち御氣分さわやかにお頭腦輕く衛生上缺くべからざる品で御座います

各地小間物化粧品店藥店雜貨店にあり

發賣元　大阪東京　藤澤友吉商店

營業品目錄

○鮮滿買入

諸海産物、乾物、穀物、穀物各種、海苔、酒、醬油、銘茶、漆器、荒物、花莚、雨傘、針金、家具類、鐵砥、石鍊、細工物、土器類、文具類、繪具、金物、用具、洗濯石鹸、線香、紙類、陶磁器、土管、島鍋、日鮮向、ランプ、セメント、石油、コールター、ル

其他日鮮人向日用品一切

龍山合組代理店　仁川新町　津田兄弟屋本店　長途電話七六番　振替京城三九九番

京城明治町二丁目　津田兄弟屋支店　電話取次一二六〇番　振替京城三八一番

黃海道　津秀浴山　津田兄弟屋出張店